



# 進歩と調和、その先へ

Progress and Harmony. Further Evolution

吹田商工会議所青年部 創立 30 周年記念コンセプト・ロゴ

創立からこれまで30年の進歩と自己研鑽・自社の発展・経済の発展の三方の調和をもって、その先のビジョンへと導く。

日本の高度経済成長と吹田市の発展の象徴ともいえる日本万国博覧会(EXPO'70)のコンセプトに、策定した中長期ビジョン30の想いを乗せ、創立30周年の時代の区切りと更なる会の発展を表現。記念式典・記念誌・記念事業全てにおいてコンセプトとして統一。

形:三方の調和を吹田市の「吹」で構築

色:ピンク=さつき(吹田市民の花) 緑=くすのき(吹田市民の木) 青=青年部カラー

#### YEG宣言

私はYEGとして、夢に挑む。

私たちはYEGとして、地域を愛し、日本を愛する。

すべてのYEGは、連帯の証となる。

#### 綱領

商工会議所青年部は

地域社会の健全な発展を図る 商工会議所活動の一翼を担い

次代への先導者としての責任を自覚し

地域の経済的発展の支えとなり 新しい文化的創造をもって

豊かで住みよい郷土づくりに貢献する

#### 指針

#### われわれ青年部は

- 一、地域を支える青年経済人として先導者たる気概で研鑚に努めよう
- 一、国際社会の一員であるべき国際人としての教養を高めよう
- 一、豊かな郷土を築くために創意と工夫勇気と情熱を傾けよう
- 一、文化を伝承しつつ新しい文化の創造に向かって歩を進めよう
- 一、行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ力を合わせ国の礎となろう

#### 日工かあ史界由由 代工とと追は山山 め工い域えがびび に会なるのののの 我議郷者舵波海海 部 我議をと気てをを 0) ら所土がはがのの ら所結が持な ら所たえ間な大大 は ちるはみ地地 青築取い打渚 先年めり 遠て 船年くつつちに 立年 気そ青日 出部たての寄は あ忘い行 ち部変概れい本 めき世せ いれけく え持ぞ空の が るつれ 井井く たもる る たに 耕地





# ご挨拶

田商工会議所青年部(吹田 YEG)は、平成元年に創立され、平成の時代と共に歩み、本年度で創立 30 周年を迎えることができました。これも、今日まで吹田 YEG の活動にご理解・ご協力を頂いた皆さま、各種関係諸団体および吹田商工会議所本会、これまでの吹田 YEG を作り上げてくださった歴代会長はじめシニア会員、OB の皆さまの支えがあったからであると改めて感じており、心より感謝申し上げます。

吹田 YEG は、会員数も 150 名を超える組織となり、吹田バル、ガンバ大阪パブリックビューイング、吹田大冒険、ガンバるタウン吹田など多数の市民が参加するような大規模な事業を行うことができるようになりました。今や、吹田 YEG は、その事業のクオリティーの高さ、例会などにおけるメンバーの参加率の高さなどにおいて他単会から一目置かれる存在となっており、会員拡大を行わなくても毎年多数のメンバーに入会を頂いています。これは、これまで先輩方が作り上げてこられた吹田 YEG の活動が認められた成果であると考えております。

しかし、今の状況に甘んじることなく、さらにより良い組織を目指すため、30 周年の節目を迎えるにあたり、今までの吹田 YEG の活動を振り返り、これから我々がどこに向かっていくのか、何をすべきなのかを改めて考え直すべきであると考えます。そこで、本年度は

『Next on the 30th ~今を見つめ直し、次の時代へ~』

をスローガンに掲げ、中長期ビジョンを示すと共にこれからの吹田 YEG を考えることにしました。これまで培ってきた吹田 YEG の良さを失うことなく、むしろ高めながら、これからも、メンバーの事業の発展や吹田の経済の活性化などに取り組み、これからの吹田にとってなくてはならない存在、市民から必要とされる存在でありたいと考えております。皆さま方には、今後も吹田 YEG の活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、これからの吹田 YEG にどうぞご期待頂ければと思います。



吹田商工会議所青年部 令和元年度 第 22 代会長 堀田 裕二





# 祝辞



吹田商工会議所 第8代会頭 柴田 仁

Hitoshi Shibata

田商工会議所青年部が創立 30 周年という節目の年を迎えられましたことを、会頭として、また、OB の一人として、心よりお慶び申し上げます。

これまで 30 年間の長きにわたり、献身的なご努力をしてこられた歴代の会長並びに役員・会員の皆様方に対しまして深く敬意を表します。吹田商工会議所青年部は、平成元年 12 月の創設以来、まさに平成の時代を通して、青年経済人として資質の向上と相互交流を通じ、自らの事業はもとより、地域経済の健全な発展ならびに豊かな地域社会の構築につとめ、商工会議所活動の活性化にも大きな役割を担ってこられました。そして青年部を卒業された方が、商工会議所の役員・議員のみならず、吹田で中心的存在としてご活躍されている方が数多くおられることは、誠に素晴らしいことでございます。

青年部の活動につきましては、吹田市の二大イベントであります「吹田まつり」と「吹田産業フェア」におきまして、重要な役割を担っていただいております。また、これまでも、ガンバ大阪の試合のパブリックビューイングなどを催され、昨年からは、吹田の魅力発信のためのポータルサイト「ガンバるタウン吹田」を立ち上げ、吹田のグルメ・イベント・お店・ガンバ大阪などの最新情報を紹介して、地域活性化に向けた活動を展開されておられます。そのため、こうした活動に対し、商工会議所本会はもとより、吹田市など各方面からも高い評価を得ています。

青年部は、会員数 150 人を誇り、全国的に見ましても有数の青年部組織となられました。これからも創立 40 年、50 年に向かって活動をされることになりますが、青年部を取り巻く環境も変わってくると思われます。そこで、今年度は、堀田会長が「Next on the 30th ~今を見つめ直し、次の時代へ~」をスローガンとして、中長期ビジョンを策定して、青年部活動を通じて、自己研鑚、自社の発展、吹田経済の発展に繋がるよう、向かうべき道を示されています。今後とも、青年らしい柔軟な発想と若いエネルギーで創意あふれる取組を果敢に進められることを期待しています。

結びになりますが、この記念すべき創立 30 周年を契機に、吹田商工会議所青年部の活動が一層活発になることと、会員皆様のご事業の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げまして、祝辞とさせて頂きます。

田商工会議所青年部が創立30周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴商工会議所青年部におかれましては、情熱をもった若い力と強いリーダーシップにより、地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担われ、地域の経済的発展の支えとなり、吹田市の発展に大きな役割を果たしてこられました。これもひとえに、会員や OB の皆様の結束力と並々ならぬご努力の賜であり、心から敬意を表します。

さて、本市では、平成30年(2018年)には北大阪健康医療都市(健都)がオープンし、令和2年(2020年)には中核市移行を目指しております。本市のさらなる飛躍が期待される今、皆様と連携を深めながら、吹田のまちの魅力や強みをさらに高めてまいりたいと考えておりますので、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、吹田商工会議所青年部の今後ますますの発展と会員・OB の皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



吹田市長 後藤 圭二

Keiji Goto

田商工会議所青年部の創立 30 周年を心からお祝い申し上げます。 貴青年部におかれましては、平成元年に、吹田商工会議所の将来 を担うべき青年経済人の集いとして設立され、以来、若い力と情熱を結 集し、様々な活動を積極的に展開され、地域社会の健全な発展を図る商 工会議所の活動の一翼を担われてきましたことに、心から敬意を表する 次第であります。

さて、2025 年に大阪・関西万博が開催されることが決定し、その経済効果は 1.9 兆円に及ぶと言われております。1970 年開催の大阪万博の会場であった本市にも波及効果が期待されるところであります。皆様方の若い英知をもって、国際社会にアピールし、この機会を地域経済のさらなる発展に結び付けていただきたいと願っています。

私ども市議会といたしましても、本市商工業の一層の振興に向けた施策 の推進に努めてまいる所存でありますので、今後とも皆様方の御理解と 御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、吹田商工会議所青年部の今後ますますの御発展を心からお祈り申し上げますと共に、皆様方のより一層の御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



吹田市議会議長 吉瀬 武司

Takeshi Yoshise

大只去辛 Congratulations



日本商工会議所青年部 会長 田中暢之 (岐阜県連 各務原 YEG)

Nobuyuki Tanaka

田商工会議所青年部が創立 30 周年を迎えられましたことを心よりお喜び申 へしあげます。また、常日頃より日本 YEG の活動に対して多大なるご理解と ご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、令和元年度日本 YEG は、「Next age,the future of YEG ~新時代の幕開け 同志と共に力と情熱を結集し、未来の創造へ前進~」をスローガンに掲げ活動を 展開しております。

今年 5 月、元号が「平成」から新たに「令和」へと変わりました。平成と共に成 長を続けた YEG が、更なる飛躍へ一歩を踏み出す絶好の機会となります。全国の 34,000 名を超えるメンバーが時代の変化を感じ、新たな時代の潮流を生み出し、 更なる飛躍を成し遂げるためには、メンバー間の交流、情報交換を今まで以上に 活発に行う必要があります。

先を見据えた行動をとることは、青年経済人として当然のことです。未来を見据 えた YEG の姿を表現していきましょう。

『この国の未来を創るのは、俺たちだ』時代に求められ、地域に愛される。そんな YEGを、共に創っていきましょう。

結びに、長きにわたり YEG 活動にご尽力された先輩諸賢をはじめとする吹田商工 会議所青年部関係者の皆様に心から敬意を表し、皆様方の企業、地域の益々の発 展をご祈念申しあげ、祝辞とさせていただきます。





近畿ブロック 商工会議所青年部連合会 会長 田中宏直 (福井県連 大野 YEG)

Hironao Tanaka

田商工会議所青年部が創立 30 周年の節目を迎えられましたことを、近畿 ブロック商工会議所青年部連合会を代表致しまして、心よりお慶び申し上 げます。

貴会が平成元年に設立されて以来、平成という時代と共に活動を展開し、今日ま で地元吹田の経済的発展の支えとなって来られました先輩諸兄を始めとする青年 部関係者の皆様に敬意と感謝の意を表します。

さて、本年度、近畿ブロック YEG では「THE STRONG OF YEG ~次代の創造へ、 絆を力に~」をスローガンに掲げて活動を展開しております。今後とも近畿ブロッ ク YEG の運営へのご協力とご支援を合わせてお願い致します。

結びに、吹田商工会議所青年部が創立30周年を契機に更なる発展を遂げられ、地 域商工業、そして皆様の企業と関係者が発展されることを心からお祈り申し上げ ます。





大阪府商工会議所青年部連合会 会長 大田隆弘 (守口門真 YEG)

Takahiro Ota

田商工会議所青年部(以下:吹田 YEG)が創立 30 周年を迎えられましたこ ▶ とを心からお慶び申しあげます。また、吹田YEGの皆様にはおかれましては、 大阪府商工会議所青年部連合会(以下:大阪府連)の活動に対して多大なるご理 解とご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

今年度大阪府連は「集 ~行動こそ時代をさきがける我の責任と信じ」というス ローガンのもと活動しております。地域の枠を超えて連携を強化し、積極的に各 事業に関われるよう大阪府連の事業を一度集約することで各事業に集中して頂き、 その事業の集(つどい)で、また新たな仲間が出来て欲しいと考えます。そうし た仲間との関わりの中で、人として、青年経済人として成長できるのであり、多 くの仲間と関わりあいながら、前向きな姿勢、元気や勇気を力に変えて、パワーアッ プした我々が地域に戻り社会に貢献できるのだと確信しております。

その成長した力を土台に数年後には大阪の地において全国会長研修会が開催され ますので、一歩前へ踏み出し、共に成長してまいりましょう。

結びになりますが、吹田 YEG のますますのご発展と、ここまで歴史と伝統を育ん でこられた諸先輩方をはじめとする吹田 YEG の皆様、そして関係各所の皆様のご 活躍とご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



# 1st •→ 20th

~ あゆみ~











































# 進歩と調和、その先へ

## 創立から 20 周年までの主な活動内容

#### 平成2年度

#### 部長 田中進

2月例会「商工会議所の機能と機構」「青年部活動方針」

4月例会「吹田市の現状及び将来像」

6月例会「人手不足の要因とその打開策」

8月例会「披露宴でのスピーチにおける心がけ、人前であがらない話し方」

10月例会「あなたも狙われるかもしれない」

12月例会「プロ野球ウラ話」

2月例会「我が社の経営理念」

経営研修会

#### 平成3年度

#### 部長 田中進(2期目)

4月例会「最近の国際情勢と日本の防衛」

6月例会「あなたは自分のファッションに自信がありますか」

8月例会 神戸港 洋上例会

10月例会「吹田市と商工業の将来について」

12月例会「バブル崩壊 これからの土地、金融、証券」

2月例会「我がゴルフ人生」

第1回、第2回、第3回企業訪問

#### 平成4年度 「参加したい青年部」

#### 部長 足立善信

4月例会「がんばってます大阪府警」

6月例会「開運に勝つには」

8月例会「上方文化虹艷話」

10月例会「吹田市及びその周辺のプロジェクトについて」

12月例会 ゆーぷる ESAKA

2月例会「今年のプロ野球展望」

#### 平成5年度 「参加したい青年部」

#### 部長 足立善信(2期目)

4月例会「バブル崩壊後の経済と経営」

6月例会「心ゆたかに」

8月例会「水上バスとパナソニックスクエア」

11月例会「我が野球人生」大阪府連初の合同例会

12月例会 料亭 三笠

2月例会「エイズを感じる」

## 平成6年度 「参加してよかった青年部」

#### 部長 長良有芳

4月例会「青年部設立への思い」

6月例会「リーダーシップの心理学」

8月例会「創立5周年プレ・イベント」納涼 Beer Party

10月例会「創立5周年記念事業」確かな実績を基に更なる飛躍へ 10月例会「自分を輝かせる自己実現法」大阪府連合同例会

12月例会「吹田発アジアブランドを目指して」

2月例会「震災と法律」

第11回産業フェア オリジナル企画を大成功

青年部 in 大飯発電所(企業見学会)

#### 平成7年度 「チャレンジする青年部」

#### 部長 長良有芳(2期目)

4月例会「企業間ネットワークとマルチメディア」

6月例会「築こう、YEG連携軸」

8月家族例会「青年部 in 神戸」

9月例会「商青連近畿ブロック大会(高石大会)」

12月例会「経営者のための健康を守る食事会」

2月例会「次年度全体委員会開催」

第3回経営勉強会「インターネットを体験する」

第12回産業フェア「産業フェアとともに」

第1回経営勉強会「企業防衛と保険」

基調講演「磨け感性、拡げよフィールド YEG 連携時代」

記念講演「リリーグの経営戦略」

第2回経営勉強会「あなたの病気が会社を潰す」

公開講演会「松下幸之助とその経営理念」

#### 平成8年度 「元気を出して」

#### 会長 井村 卓治

4月例会「北摂の開発と問題・JR 吹田操車場跡地利用について」

6月例会第1部「吹田まつり参加について」

7月例会大阪府連創立5周年記念事業「YEGフレンドシップフェスタ開催」

10月例会「リーダー訓練法をマスターしてみませんか?」

11 月例会大阪府連創立 5 周年記念事業式典・講演会「劇場化する都市」

12 月例会 料亭「久恵」

2月例会 次年度全体委員会

第2部講演会「経営者とお酒について」新しいお酒の飲み方

経営ケーススタディー・II「社長自身が本気になれ!」

#### 平成9年度 「さらに元気を出して」

#### 会長 井村卓治(2期目)

4月例会「取り戻せた笑顔」

6月例会 青年部公開講演会「杉本清のサラブレッド的経営論」

8月家族例会「工場見学とビールの試飲会」アサヒビール吹田工場ゲストハウス

10月例会 青年部公開講演会「大変革時代の経営戦略」

12月例会 ハートランド江坂【車】

2月例会「元気の出る歴史教育」

ホームページ開設

第14回吹田産業フェア 青年部「お笑いコンテスト」「市民メディアコーナー」

インターネットセミナー「自社ホームページ立ち上げを目指して」

産業フェア視察研修会(福井県武生市及び鯖江市)

インターネットセミナー「ホームページ事例研修会」

#### 平成 10 年度 「初心に(これが青年部だ)」 会長 上田哲

4月例会「初心に(これが青年部だ)」

6月例会『長浜市のマチづくり「博物館都市構想」に学ぶ』

8月家族例会

11月例会「みんなで考えよう吹躁跡地問題」

12月例会「松下幸之助に学ぶ強運のつくりかた」

2月例会「デビュー秘話〜笑王へ〜」

第15回吹田産業フェア 青年部「ミニステージ」「お笑いコンテスト」

「元気のある企業就職説明会」「市民メディアコーナー」「吹田市 PTA コーラスフェア」

青年部海外研修報告(中国 海南島)

#### 平成 11 年度 「本質を求めて」

#### 会長 大枝正人

7月例会 "カラーの時代"における青年経営者の戦略

9月例会 「21世紀のビジョンを語る」「10周年記念事業事前懇談会」

12月例会 「21世紀のビジョンを語る」 交流研修会 京都貴船(左源太)

事業交流会 吹田産業フェアにおける事業ならびに青年部参画の活性化を図る

創立 10 周年記念式典

創立 10 周年記念事業「共に働き、ともに暮らせる町 吹田」アンケート調査の実施

#### 平成 12 年度

#### 会長 大枝正人(2期目)

6月例会 「桃太郎は日本一か」

8月例会 「待ったなし! そこまできている環境問題」 9月例会 吹田あきんど塾 「60代と40代の事業革新」 10月例会 「勝組と負組を分ける原点」府青連合同例会

2月例会 「出逢いの不思議、金メダルの道」

海外視察研修会 廈門(中国)

#### 平成 13 年度

#### 会長 紙谷正行

6月例会 「目標の設定とプロセス〜ゴルフと経営の共通点」

10月例会 「シニア会員との交流」 2月例会 「箕面 YEG との交流会」 親睦事業 ボウリング大会

### 平成 14 年度

#### 会長 紙谷正行(2期目)

6月例会 「国際分散資産保全の必要性」 8月例会 「会員家族との交流会」 10月例会 「シニア会員との交流会」 2月例会 「箕面 YEG との交流会」

#### 平成 15 年度

#### 会長 石井 博章

11月 全国大会(大阪大会)

6月例会 若手経営者懸然会 (異業種交流会) 「元気大阪を吹出から!」

8月例会 「私の経営論」

10月例会 「株価が見る今年度後半の景気の行方」

2月例会 「生きがいのゆくえ」

## 平成 16 年度

## 会長 寺西 大弐

6月例会 「笑うかどに商売あり!」

8月例会 「近畿ブロック大会 吹田大会」

10月例会 「近畿ブロック大会 吹田大会 実行委員会解散式

2月例会 箕面 YEG 合同例会「温顔無敵」

近畿ブロック大会(吹田大会)

全国大会(帯広大会)

#### 平成 17 年度

#### 会長 寺西大弐(2期目)

6月例会 「タイガースの経済効果はごっついで!」 10月例会 「ワインに関する講演及びテイスティング」

2月例会 模擬裁判「裁判員制度―もしもあなたが選ばれたらー」

前期新入会員オリエンテーション 後期新入会員オリエンテーション

2005 年ビジョン策定

#### 平成 18 年度 会長 馬場 龍



10 月例会 「吉本新喜劇・花金レイトショー」 2月例会 「中小企業の M&A 戦略~みんなが喜ぶ企業拡大~

会員交流事業 • 鹿児島訪問研修 日本 YEG「翔生塾」参加(東京)

#### 平成 19 年度

#### 会長 疋田陽造

6月例会 「人のイキイキと会社のイキイキ」

10月例会 「会社のイキイキ」

2月合同例会 「ビジネス交流会」 海外セミナー事業 台北にて台湾企業との交流

会員交流事業 池田 伏尾温泉不死王閣 YEG 東京サミット参加

新入会員オリエンテーション

#### 平成 20 年度 会長 中野 聰

6月例会 「日本酒の伝統と創造」

10月例会 「早起きは三文の徳。めざせ!朝ごはんの達人

2月合同例会 「ビジネス交流会」 会員交流事業 神戸異人館「英国館」 会員交流事業 スカイクロス大会 会員研修事業 広島にて平和学習

会員交流事業 かるた大会





















1st → 20th Progress





#### 吹田 YEG の誕生

吹田商工会議所青年部は、吹田商工会議所(以下本会)の佐々木欽也第4代会頭から、当時の本会の閉塞状況を打破するために、 若手経営者の育成を図るとともに、若手経営者のエネルギッシュな活動により地域経済の活性化を進めたいとの要請を受け、 有志 8 名が発起人となり、規約の作成や会員募集など約 1 年半の準備を経て、平成元年 12 月 6 日、メイシアターにて設立 総会を開催し、産声を上げました。 設立時の会員数は 60 名に上り、第1代部長(現在の会長に相当)には田中進先輩(故人) が就任されました。

設立後、本会からは、青年部が手足となって本会に協力してほしいとの声もありましたが、逆に青年部の事業に本会が協力 してほしいとの意気込みで、予算も事業も本会とは別にして自主的な運営を進めました。趣向を凝らした例会の開催のほか、 吹田商工会議所会員親睦ゴルフ大会 (茨木カンツリー倶楽部)の開催 (平成2年)、海外研修(平成3年)、会員福利厚生事業「お つかれさま!笑っていただきます」(メイシアター、参加者約1,000名)の開催(平成3年)、大阪府商工会議所青年部連合会(府 連)の創立(平成4年)への参画、吹田産業フェアへの出展(平成4年)・実行委員会への参画(平成6年)、さらには、会 員の日本 YEG への出向、全国大会 (大阪大会) への協力 (平成 13年) などにより、若手経営者の親睦と啓発の場として、また、 地域経済の発展のため活動を展開しました。













#### 近畿ブロック大会 「吹田大会」

平成16年8月28日、第22回近畿ブロック大会「吹田大会」を開催しました。

吹田 YEG が主管を受けることに議論が重ねられ、単会活動をおろそかにすることなく近畿ブロック大会主管を完遂させる ことを役員会で確認しました。大前清彦実行委員長(当時)以下、多忙な準備が始まりました。参加者全員に満足してもら うことを念頭において大会コンセプトの作成、式典、分科会、大懇親会部会、各担当において、吹田市をよく知ってもらう というテーマに沿った企画が進められました。これと並行して、開催 1 か月前からは単会キャラバンを開始し、その結果 1,000 人を超える登録が集まりました。

そして迎えた当日、メインプログラムは吹田における青年経営者の諸問題への取り組みを題材にした演劇を行い、分科会も ①太陽の塔内部見学ツアー②アサヒビール吹田工場試飲見学ツアー③最先端バイオ技術講演会④吹田市内の名所周遊バスツ アーとし、近畿ブロックからの参加者を目一杯もてなすことができました。大懇親会においては、吹田市内の4大学にバトン・ チアリーディング・吹奏楽・混声合唱・司会を務めて頂き、親睦夕食会(前泊者懇談会)においては、吹田市内のミュージッ クスクールから女性4人ユニットに参加していただき、さらに吹田をPRしました。

最後に、近畿全域から集まって下さったメンバーが笑顔で吹田の地を後にされ、本大会の成功を実感することができました。 その成功は吹田 YEG のメンバーにとっても大きな財産となりました。幾度となく繰り返される企画会議での議論や準備作 業を通して、メンバー間の友情が芽生え、自然と YEG に対する思いが深まり、団結力が深まったのです。









# 21st •→ 30th

~ あゆみ~













































# 平成21年度



第12代会長 中野聰

#### 平成21年度を振り返って

平成 21 年度の青年部活動は前年度より準備を進めてきた創立 20 周年に関する事業、中でも、吹田くわい焼酎「芽吹」を約 1,400 本生産し、初年度にほぼ完売する十分な成果を挙げることができました。生産に至るまでの担当委員の苦労や、多くのメンバーによるラベル張り、焼酎の保管場所など、様々な課題を青年部、そして、それぞれの会員事業所の多大なる支援のもと達成することができました。また、吹田産業フェアにおいては、全国 YEG より地元の特産物を提供していただき、ご当地自慢商品物産店を行いました。この事業は全国組織の YEG のネットワークが生かされ、吹田だけではない、全国の YEG メンバーとの交流が生まれる事業となりました。終えてしまえば、なんとも早い 1 年間ではありましたが、それぞれの事業には各担当会員の工夫や思いを感じることができました。素晴らしいメンバーにご支持をいただいたことに対して、あらためて感謝を申し上げます。

#### Data & Schedule

期首会員数 58 名 入会者数 17 名

会長:中野聰 直前会長:疋田陽造 顧問:石井博章 寺西大弐 馬場龍 監事:橋本徹也 奥谷和子副会長:河﨑浩一 林健治 井谷智子 会計理事:野口享

4月:通常総会・例会(新大阪江坂東急イン)

5月:吹田産業フェア「ご当地自慢商品物産展」

6月:公開例会「陽転思考で時代を切り開く」(吹田商工会議所)

8月: 例会 (明石酒類醸造株式会社) 9月: 近畿ブロック大会「八尾大会」 11月: 創立 20 周年記念式典 (メイシアター) 12月: 臨時総会・例会 (中華料理 大東洋)

1月:新春交流会「京都祇園〜おもてなしのこころ〜体験」(京都祇園

祇おん新門荘)

2月:北地区合同例会(吹田商工会議所)

3月:全国大会「えひめ松山大会」



進歩と調和、その先へ

#### >20周年実行委員会(委員長:西本 章二 副委員長:角谷 秀明)



11月に吹田YEG創立20周年記念式典・記念パーティをメイシアターで開催。多くのメンバーの協力の下、メンバー66名を含め117名の関係者に参加いただきました。式典では東京ヤクルトスワローズの宮本慎也選手(吹田市出身)からのお祝いメッセージ映像と、吹田YEGの思いを伝える記念映像を放映しました。

また、20 周年事業として吹田くわい焼酎「芽吹」を企画・開発、約 1,400 本を製造し、販売を開始しました。周年記念誌「飛躍せよ 20 歳の吹田 YEG」も発刊しました。

#### 〉第3委員会 - 広報渉外・ビジネス推進担当(委員長:阿部 弘明 副委員長:金井 直子 西本 敦 田中 宏彦

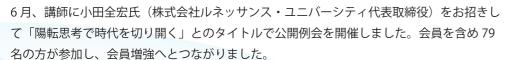


4月の通常総会・例会はシニア会員他を含め57名が出席しました。

1月には京都祇園「祇おん新門荘」にて新春交流会を行い、女将のご講話をお聴きし、お座 敷を体験しました。伝統ある日本の「高級おもてなしビジネス」に触れつつ、遅くまで懇 親を深めました。

2月には箕面 YEG との北地区合同例会を開催し、エンジェルタッチについて学びました。 池田 YEG も参加され、次年度以降の近隣単会との交流が期待される例会となりました。

#### 〉第1委員会 - 会員研修•内務担当(委員長:川西 唯道 副委員長:車谷 光利 橋本 真彌)



9月は近畿ブロック大会「八尾大会」。記念式典、記念講演(講師は橋下徹氏)、陸上自衛隊 八尾駐中地での分科会に参加しました。

12月には臨時総会・例会を中華料理「大東洋」で開催。シニア会員他を含め 53 名に参加していただき、例会では 20 年前の時事問題・吹田の出来事をテーマとしたクイズ大会を行いました。



#### ◇第2委員会 - 事業推進・未来ビジョン担当(委員長:山本 耕一 副委員長:加藤 隆信 宮田 正徳)



5月、吹田産業フェアにて、前年と同様に全国のご当地自慢商品の物産展を行いました。 8月例会は兵庫県明石市の吹田くわい焼酎「芽吹」の製造工場隣の会場で行い、工場を見学 させて頂き、焼酎の製造工程の説明を受けました。

3月には愛媛県松山で開催された全国大会に卒業予定者3名とともに参加。道中の尾道観光 も楽しみました。



#### くわい焼酎「芽吹」の誕生

「芽が出る」「芽出たい」として縁起物とされてきた吹田くわい。 その「芽」と吹田の「吹」の字を組み合わせて「芽吹」と命名 しました。

この名称は、花春酒造株式会社様(福島県)により先に商標登録されていたことが判明しましたが、同社に伺い、社長様とお会いしお願いしたところ、趣旨にご賛同いただき、商標の無償使用をご快諾いただきました。

原材料の吹田くわいは平野農園様から「芽吹」用にと優先してご提供いただき、商品開発については明石酒類醸造株式会社様 (兵庫県) に多大なご協力を頂戴し (小ロットの依頼にもかかわらず、何度も試作品を作って下さいました)、くわいの持つクセを押さえつつ、独特の甘味を活かした商品とすることができました。



【日本の出来事・世界の出来事】5月21日 裁判員制度施行 10月9日 Twitter, Inc.が「Twitter」をリリース 1月19日 日本航空が経営破綻 2月26日 浅田真央、バンクーバー五輪で銀メダル 2009年の漢字 「新」(出典:日本漢字能力検定協会) 2009年日本レコード大賞 「Someday」(EXILE)(出典:TBSテレビ) 2009年新語・流行語大賞 「政権交代」(出典:ユーキャン新語・流行語大賞) 2009年ベストセラー 「1Q84」(村上春樹)

# 平成22年度



第 13 代会長 西本 章二

#### 平成22年度を振り返って

平成 22 年度の青年部活動について、私が再三にわたって口にしてきたことは「YEG 活動を楽しんで下さい」ということと、「吹田 YEG の存在価値」ということの二点でした。YEG 活動そのものには真剣に取り組みながら、それを楽しむことによって、新たな発想や、それを具現化するためのパワーが生まれ、そして青年部でなくては考えつかないこと、できないことを目指そうという呼びかけをさせていただきました。

それぞれの事業に熱意と工夫を持って臨んでくれた各担当委員会をは じめメンバー全員に、あらためてお礼を申し上げたいと思います。会 員の皆様、本当にありがとうございました。

#### Data & Schedule

期首会員数 57名 入会者数 13名

会長:西本章二 直前会長:中野 聰 顧問:石井博章 監事:阿部 弘明 井上 雄介

副会長:林健治 井谷智子 奥谷和子 会計理事:角谷秀明

4月:通常総会・例会(新大阪江坂東急イン)

5月:吹田産業フェア

6月:経営者研修会 公開例会 「健康管理してますか?」(吹田市立豊津西中学校 体育館)

8月:新入会員セミナー ハワイアンナイト (COCONUT CLUB - ココナッツクラブ -)

:例会(吹田市消防本部)

9月:会員交流事業・吹田ブランド創出特別事業(中華人民共和国 上

:近畿ブロック大会「草津大会」

11月:例会(服部緑地内 ユースホステル)

: 吹田市 70 周年フェスタ (万博記念公園)

12月:臨時総会・例会(サニーストンホテル)

1月:新春交流会 ~初笑い「笑う門には福来る」~(動楽亭)

2月:北地区合同例会「成功のために経済波及のプロセスを知ろう」(箕

面観光ホテル)

:全国大会「みやぎ仙台大会」

#### 〉産業フェア特別委員会(委員長:宮田 正徳 副委員長:西本 敦 曽我部 晋太)



5月の産業フェアでは、吹田市制施行70周年を記念して、初の試みとなる「食博」フードコート、スイーツフェスタが開催されました。青年部としては独自事業を取り止め、これの開催に全面的に協力しました。

11 月には、吹田市 70 周年フェスタに出店協力。市内のフランス料理店にご協力いただき、大きな寸胴鍋 2 つ分のビーフシチューを万博公園に運び込んで販売しました。

12 月の臨時総会・例会では、シニア会員含む 47 名が参加しました。例会では、会員からの応募で集まった豪華賞品をかけた大ビンゴ大会が催され、来年度に向けて結束を深めました。

#### ◇会員交流委員会(委員長:坂本 一成 副委員長:田邊 寛 橋本 幸治)

6月公開例会では、講師にアクアドクター石黒伸氏、ビリーズブートキャンプのビリー・ブランクス氏をお招きし、健康管理に関する講演、全員での運動を通して、達成感や爽快感を共有しました。

8月新入会員セミナーでは、ハワイアンナイトと称して江坂のお店を借り切り、フラダンスやゲームなど楽しい一時を過ごしました。西本会長によるサプライズ演奏等も行いました。

1 月の新春交流会では、「動楽亭」を借り切って、落語の鑑賞会を行い、上方固有の笑いの文化を心の底から楽しみました。

2月の全国大会では、秋保温泉にて仙台の味覚と入浴を楽しみ懇親を深めました。



進歩と調和、その先へ

#### ◇総務委員会(委員長:車谷 光利 副委員長:橋本 真爾 奥永 憲治)

- 4月、通常総会・例会が行われ、シニア会員を含む 55 名が参加しました。卒業式では、理事有志から贈る言葉を収録したビデオレターを上映し、卒業生を送り出しました。
- 9月の近畿ブロック大会では、吹田 YEG メンバーは 10 ある分科会の内、「近江地酒の品評会」に参加。日本酒・ワインに珍味と近江の恵みを堪能しました。
- 11 月例会では、屋外の施設で肩の力を抜き、親睦を深めることを目的としてバーベキューを行いました。日曜日の開催とし、家族の会員や友人にも参加いただき、様々な話題に花が咲きました。



#### ◇広報渉外委員会(委員長:山本 耕一 副委員長:森 智也 川西 唯道)



8 月例会では、府内消防本部で初めて基礎免震構造を採用した庁舎の見学を通して、吹田市の防災に関する取り組みを学びました。救急研修として、心肺蘇生法や AED の取り扱い方法等も学びました。

9 月事業では、万博開催地の上海市を訪問し、目覚ましく発展を続ける中国経済、旧市街との共生を、河や運河をうまく使いながら行っている都市開発計画等を肌身で感じました。(会員交流委員会も合同で担当)

2月には、箕面YEG主管で北地区合同例会が行われました。懇親会での各単会PRタイムでは、 吹田YEGからは産業フェア、ガンバ大阪のPRを行いました。







【日本の出来事・世界の出来事】1月19日 日本航空、会社更生法の適用を申請 2月4日 横綱・朝青龍が現役引退を表明 5月1日 上海万博開幕 6月4日 菅新内閣が発足 10月6日 鈴木章氏がノーベル化学賞受賞 2010年の漢字 「暑」 2010年日本レコード大賞 「I Wish For You」(EXILE) 2010年新語・流行語大賞 「ゲゲゲの~」 2010年ベストセラー 「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」(岩崎夏海)

# 平成23年度



第 14 代会長 林 健治

#### 平成23年度を振り返って

「為せば成る為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり」 の想いで平成23年度の会長に就任しました。

東日本大震災の深い爪痕が残る中スタートを切りましたが、被災された現地の方達の困難に立ち向かう屈強な精神力と弛まぬ努力にも 勇気づけられつつ、4月の通常総会から年末の臨時総会、3月例会 まで無事に終えることができました。

新たな出会いが有ったり、仲間との交流が深まったり、ビジネスに 発展したりと「青年部に居てよかった」と感じていただける方がわ ずかでもいらっしゃれば幸いです。

皆様の協力無くしては何事も為しえることはできませんでした。活動を支えて頂きました皆様に感謝いたします。

#### Data & Schedule

期首会員数 64 名 入会者数 11 名

会長:林健治 直前会長:西本章二 特別顧問:中野聰 顧問:石井博章 監事:阿部弘明 村上淳副会長:井谷智子 奥谷和子 山本耕一 会計理事:井上雄介

4月:通常総会・例会(サニーストンホテル)

5月:産業フェア「YEG にぎわい市」

6月:公開例会「未来の吹田のまちづくり。大阪そして日本」(メイシ

アター)

8月:例会(ホテルニューオータニ大阪)

9月:近畿ブロック大会「明石大会」

10月:大阪府商工会議所青年部連合会20周年式典(ホテル日航大阪)

11月:例会「リアル Facebook 活用術」(吹田商工会議所)

12月: 臨時総会・例会(新大阪江坂東急イン)

2月:北地区合同例会「素材とデザインで市場をひらく」(池田市民文

化会館)

: 全国大会「越中富山大会」

3月:例会「これであなたもスピーチ上手!!」(サニーストンホテル)

#### 〉総務委員会(委員長:川西 唯道 副委員長:富永 明)



4月、通常総会・例会を開催し、正会員 37名、シニア他 10名が参加しました。懇親会では特別ゲストの「笑撃武踊団」による侍アクションが行われました。

8 月例会は、ホテルニューオータニ大阪の屋外プールサイドで開催。ポピュラー音楽を BGM に陽気かつリラックスしたムードの中、事業所 PR タイムやメンバーの音楽 DJ 技術を駆使したイントロクイズが行われました。終盤にはプールに飛び込む会員も。

12月の臨時総会・例会には、正会員 37名、シニア他 19名が出席しました。懇親会では映像を駆使したテーブル対抗クイズ大会を行い、メンバー同士の懇親を図ることができました。

#### ◇渉外委員会(委員長:生田 謙一郎 副委員長:瓜生 晴彦)

6 月、コラムニストの勝谷誠彦氏をお招きし、「どこまで言うねん!講演会」と題した公開 例会を開催。約800名に及ぶ多数の方にご参加頂きました。

10 月は明石市で行われた近畿ブロック大会へ。記念式典、記念講演(岩崎夏海氏の「もし YEG がドラッカーの『マネジメント』を読んだら」)等に参加しました。旅のしおりを作成して参加メンバーに配布し、好評を博しました。

2月は全国大会「越中富山大会」へ。記念式典、記念講演(櫻井よしこ氏)等に参加しました。









#### ◇会員交流委員会(委員長:森 智也 副委員長:田中 宏彦)

5月の産業フェアでは、「YEG にぎわい市」と題して、吹田 YEG ゆかりの商品や全国の他単会の会員企業の商品を販売しました。

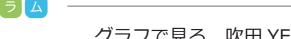
11 月例会では、高野博史氏 (株式会社ターン・アンド・フロンティア代表取締役)をお招きし、フェイスブックの使い方や YEG におけるフェイスブック活用法とその可能性などについて で講演頂きました。

2 月の北地区合同例会(主管池田 YEG)では、能作克治氏による「素材とデザインで市場を開く」をテーマにした講演とテーブルディスカッション等が行われ、事業の効率性向上や作業内容の改善点等について学び、また、他単会との交流を深めました。

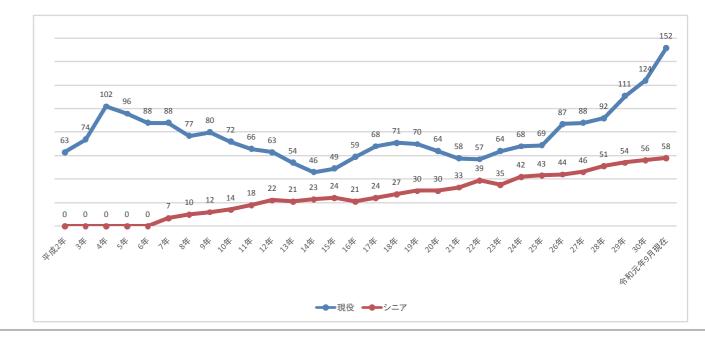
3 月例会では、講師に関西テレビアナウンサー藤本景子氏を招き、スピーチをするコツや分かりやすく人に伝える技術を教えて頂きました。



進歩と調和、その先へ



### グラフで見る 吹田 YEG1st→30th 会員数の推移



【日本の出来事・世界の出来事】6月21日 LINE Corporationが「LINE」をリリース 10月5日 スティーブ・ジョブズ死去 3月25日 AKB48前田敦子が卒業を発表 2011年の漢字 「絆」 2011年日本レコード大賞 「フライングゲット」(AKB48) 2011年新語・流行語大賞 「なでしこジャパン」 2011年ベストセラー 「謎解きはディナーのあとで」(東川篤哉)

## 平成24年度



第 15 代会長 奥谷 和子

#### 結びつき・・・絆

平成 24 年度はスローガンを、人と人との結びつき「絆」と掲げ、今 まで以上に、魅力ある青年部にしていきたいとの思いでスタートしま した。

同年度は、13 名の新入会員を迎え、メンバーも 77 名となり、シニア メンバー36名を含め青年部は113名となりました。大きな事業も含め、 各委員会が真剣に考え、企画立案をして活発に活動しました。多くの メンバーが関わることによって、メンバー同士の「絆」も深まり、さ らに強い組織になったと実感します。挑戦することによって、多くを 学び、貴重な経験をした一年であったと思います。

メンバーの皆様には、一年間大変で尽力頂き、心より感謝お礼申し上 げます。

#### Data & Schedule

期首会員数 68名 入会者数 13名

会長: 奥谷 和子 直前会長: 林 健治 顧問:西本章二 中野 聰 監事:阿部 弘明 井谷 智子 副会長:坂本一成 村上淳 山本耕一 会計理事:谷義孝 事務局長:瓜生 晴彦

4月:通常総会・例会(新大阪江坂東急イン)

5月:吹田産業フェア「被災地支援物産展」

6月:会員交流事業「吹田 YEG 宝塚グランプリ」(宝塚カートフィールド) 12月:臨時総会・例会(北新地ア・フリーク)

8月: 例会「復興支援サマーコンサート in 熊野川」

9月:会員交流事業「会員と家族で絆を深めるバーベキュー食材争奪戦」 (万博記念公園)

10月:近畿ブロック大会「若狭小浜大会」

11月: 例会「吹田バル」(JR 吹田駅前周辺商店街)

1月:会員交流事業「踊るマハラジャ!吹田インド化計画!インドアで インド!」(吹田南小学校体育館・インドレストランチャトパタ)

2月:例会(吹田商工会議所)

3月:全国大会「おきなわ那覇大会」

#### >総務委員会(委員長:金井 直子 副委員長:嶋貫 哲治)



4月の通常総会は、シニア会員等14名を含む60名の参加により開催されました。 5月は、第29回吹田産業フェアにおけるYEG独自の事業として「被災地支援物産展」 を開催し、被災地域の青年部に仕入でご協力をいただくなど、他単会との交流も深ま る事業となりました。

10 月の近畿ブロック大会「若狭小浜大会」においては、各地の単会の仲間と地域の活 性化についての想いを共有することができました。

12月には臨時総会・例会を開催し、次年度へ繋ぐ思いを新たにしました。

3月、24年度最後の事業、第32回全国大会「おきなわ那覇大会」に卒業予定者3名 とともに参加いたしました。

# 》例会委員会(委員長:生田 謙一郎 副委員長:長屋 和也)

4 月例会では、新入会員の入会式を行うとともに、5 名の卒業会員の卒業式では、卒業会員 の活躍を映像で流し、現役会員に向けたメッセージなどをいただきました。

8月例会では、和歌山県新宮市にて新宮商工会議所青年部と協力し「復興支援サマーコンサー ト in 熊野川」を開催いたしました。被災地の現状を知るとともに、復興支援だけではなく、 他単会とも絆を深めることができ、吹田市と吹田 YEG の活動も知っていただく機会となり ました。

11 月は、例会「吹田バル」を開催いたしました。吹田市初の食探訪イベントとなるバル開 催に向けて、実行委員会を構成し、YEG が主体となって、連日の開催準備を行いました。 当日は、JR 吹田駅周辺の飲食店 60 店舗に参加いただき、夜遅くまで若者や家族づれで賑わ い大盛況に終えることができました。

2月公開例会では、「路上詩人大将」氏にご講演頂き、ひとりひとり色紙に書き下ろして頂き、 懇親会では一般参加者とも交流し、YEG の活動に関心を持って頂く機会となりました。





#### >会員交流委員会(委員長:富永 明 副委員長:堀田 裕二)

6月は、カートレース「吹田 YEG 宝塚グランプリ」を開催。降水確率が 20%にも拘わらず 大雨(一時雷雨)という悪条件でしたが、シニア会員を含む多くのメンバーが参加し楽し みました。

9月は、「会員と家族で絆を深めるバーベキュー食材争奪戦!」を開催し、メンバーのご家族、 シニア会員を含む 70 名程が参加しました。高級食材の争奪ゲームなどを行い、ご家族同 士の交流も深まりました。

1月は、「踊るマハラジャ!吹田インド化計画!インドアでインド!」を開催しました。 急成長を遂げているインドに着目し、インド発祥のヨガとスポーツ競技「カバティ」を取 り入れ、懇親会もインド料理レストランと、インドー色の一日となりました。



進歩と調和、その先へ

#### メッセージ

## 「吹田バル」~チャレンジ、そして発展~

「吹田バル」を開催しようと思ったのは、何気ないことからです。

当時、役員会のあとの懇親会はいつも江坂で、JR吹田付近のお店には行くことがなく、どうしてだろうと考えたことからでした。 そこで検証してみたところ、商店街の経営者の高齢化や空き店舗の問題があることが分かり、これこそ商工業の発展を担うYEGが取 り組むべき課題だと考えました。

そこで平成24年に初めて開催したのが「吹田バル」です。

他市も含め多くの人に吹田に来て頂き魅力を知ってもらいたい、そしてバルがきっかけとなり、地元や店舗の方々の意識改革が大き く推進すれば、必ず地域の活性化へと繋がると考え、熱い想いをもって取り組みました。

初めての対外的な事業で、当時はまだまだ街バルイベントの認知度も低く、大きな挑戦となりましたが、蓋を開けてみると、参加店 舗は60に達し、店舗からも市民からも高い評価を受け、成功を収めることができました。

翌年・翌々年も吹田YEGとして開催に参画し、今では「吹田バル」は地元に根付いたイベントとなりました。

今後の「吹田バル」の益々の発展を期待しています。

第15代会長 奥谷 和子

# 平成25年度



第 16 代会長 山本 耕一

#### 平成25年度を振り返って

本年は「強い組織」を目指して主に四つのアプローチで活動しました。具体的には、理事メンバーの若返りの積極的推進、役員会運営の活性化、商売面からの会員間交流の強化ためビジネス支援委員会の設置、OB 諸先輩方の参加促進のためのシニア会員の年会費の値下げです。

また、本年は 32 名の新入会員を迎えることができました。その中でも当会ホームページや facebook を通じての入会が数多くあったことに、これまでの地道な活動の積み重ねの結果ではないかと特に嬉しく感じました。

この他にも、吹田バルの企画・運営への参加、吹田産業フェアへの 物産展の独自出店等を行いました。

多くの皆様のお支えのお陰で一年が無事に終えられたことに感謝致 しております。

#### Data & Schedule

期首会員数 69名 入会者数 32名

会長:山本 耕一 直前会長:奥谷 和子 顧問:中野 聰 西本 章二 監事:井谷 智子 橋本 幸治 副会長:富永 明 村上 淳 坂本 一成 会計理事:谷義孝 事務局長:瓜生 晴彦

4月:通常総会・例会(新大阪江坂東急イン)

5月:吹田産業フェア(復興支援物産展)

6月:公開例会 講演会「ビジネスで勝つための法則 ランチェスターの

法則とは!?」(新大阪江坂東急イン)

7月:会員交流事業「チンチン電車の旅」(阪堺電気軌道)

9月:例会「アドベンチャーレース」(千里北公園)

10月:近畿ブロック大会「生駒大会」

: 会員交流事業 ボウリング大会 (フタバボウル・フランシスベー

進歩と調和、その先へ

コン)

11月:会員交流事業 吹田バル (JR 吹田駅前周辺商店街)

12月:臨時総会・例会(グランフロント大阪)

1月:例会「ビジネスボードゲーム」(吹田商工会議所)

2月:全国大会「とちぎ宇都宮大会」 3月:北地区合同例会(住之江競艇場)

#### 〉総務委員会(委員長:森 智也 副委員長:古川 貴晃)



4月、通常総会・例会を設営し、シニア会員 17 名を含む 75 名の方々に参加して頂き、総会では平成 25 年度の委員会基本方針等を審議し、例会では、入会式・卒業式を行いました。卒業生は 9 名で、最後に青年部への思いを語って頂きました。

臨時総会・12月例会は、この年4月に開業した大阪の新名所、グランフロント大阪 で開催しました。会場への道順が複雑で苦労される人もいましたが、次年度の役員 を選任した後、例会では忘年会を兼ねて楽しく盛り上がりました。

またホームページや SNS 等の管理運営にも力を入れ、青年部の活動等を積極的に発信し、新入会員の増加にも繋げることができました。

#### ◇会員交流委員会(委員長:嶋貫 哲治 副委員長:釜山 洋宜)

7 月交流事業では、チンチン電車(阪堺電気軌道)を 1 両丸ごと貸切り、車内で新入会員の自己紹介や自身にまつわるクイズを出題し、交流を深めることが出来ました。

10 月の会員交流番外編では、関大前のフタバボウルでボウリング大会を開催しました。新入会員の約半数が参加し、普段見られないメンバーの一面を垣間見ることが出来ました。

11月の吹田バルでは、案内警備、ネット情報発信等、各担当に分かれて運営に当たりました。 特に委員会メンバーは、似顔絵ブースへの呼び込みを中心に活動しました。担当時間外は、 メンバーで参加店舗を回り、バルの雰囲気を楽しみました。吹田以外からの参加も多く、 JR 吹田駅周辺の賑わいづくりにも少しは貢献できたのではと思いました。

2月の全国大会は、栃木県宇都宮市で開催されました。記念式典や記念講演、各分科会に参加し、夜は大懇親会や吹田ナイトでワイワイ楽しみました。



#### ◇企画委員会(委員長:堀田 裕二 副委員長:稲葉 英基)

吹田産業フェアでは、会場運営等に加え、東日本大震災や台風の被災地の物産を買取り、「まだまだやります!復興支援物産展」と銘打って独自事業を行いました。2日目には、多くの商品が売り切れ、微力ながら被災地支援に貢献することが出来ました。また、今回は被災地のお酒やおつまみを用意した飲食ブースや、輪投げや似顔絵を楽しめるイベントブースも設けました。

9 月例会は、千里北公園を会場に、アメリカで仮装等をして楽しむアドベンチャーレース「ウォリアーダッシュ」を参考に、屋外型障害物レースを行いました。メンバーの攻めのパフォーマンスで大変盛り上がるとともに、日頃の運動不足を解消する機会にもなりました。

3 月の北地区合同例会は、箕面 YEG が主管で住之江競艇場を会場に、地方行政と競艇の関係の講義、船着き場の見学等、競艇を深く知る貴重な機会となりました。



#### 〉ビジネス支援委員会(委員長:田中 宏彦 副委員長:大久保 和也)





6 月公開例会では、ランチェスター経営大阪の井上秀之氏からランチェスター戦略の講義をお聞きし、中小企業が実施すべき PR 方法を学んだうえで、グループ毎に事業所紹介を作成し、グループディスカッションを行いました。外部からも 30 名以上参加があり、YEG を知って頂く機会となりました。また紹介資料は冊子にして後日参加者に配布し、事業効果を高めることに努めました。

10月の近畿ブロック大会「生駒大会」には、環状線鶴橋駅に集合し、生駒の地へ向かいました。 記念式典、記念講演、分科会に出席し、他単会との親睦を深めることできました。

1 月例会は、6-10 名でチーム(会社)に分かれ、全吹田 YEG メンバーの事業所を配置した 吹田 YEG オリジナルボードゲーム で、それぞれのビジネスを疑似体験し、各チームの資産 が増減するゲームを通じ、メンバー相互の事業を知る機会となりました。



# 平成26年度



第17代会長 村上淳

#### プラスワン

平成 26 年度は、吹田 YEG 創立 25 周年という節目の年でもあったので、青年部の存在意義を再確認すると共に更なる飛躍に繋げるため、「+1~プラスワン~」という言葉をスローガンに掲げ、各委員会には、事業の「目的・手段・効果」のすべての面において、一歩先に進める意識で取り組んで頂きました。その結果、すべての委員会が企画段階からより良い事業を目指し、熱い思いとチャレンジ精神で事業に取り組んで頂き、今後の吹田 YEG に一石を投じる 25 周年にふさわしい素晴らしい 1 年となりました。そのおかげもあって、会員数も 100 名を超えることが出来ました。

平成 26 年度を支えて頂いたすべてのメンバーの皆様、思いのこもった「プラスワン」を本当にありがとうございました。

#### Data & Schedule

期首会員数87名 入会者数16名

会長:村上淳 直前会長:山本 耕一 特別顧問:奥谷 和子 顧問:西本 章二 監事:坂本 一成 生田 謙一郎 副会長:富永 明 堀田 裕二 瓜生 晴彦 専務理事:嶋貫 哲治 会計理事:谷 義孝

4月:通常総会・例会(新大阪江坂東急イン)

5月:吹田産業フェア

6月:公開例会「日本、そして吹田の未来を語る!」(メイシアター)

7月:海外視察事業 ベトナム社会主義共和国ホーチミンシティ視察 (ホーチミンシティ)

8月:交流事業「ハルカスに登ってみてもいいんかい」(あべのハルカス)

9月:25周年事業 ガンバ大阪 吹田ホームタウン化構想 (大和大学)

10月:近畿ブロック大会「あふさか箕面大会」

11月:事業「吹田バル」(JR 吹田駅周辺商店街)

12月:臨時総会・例会(アニヴェルセル江坂)

1月:北地区合同例会(ガンバ新スタジアム建設現場・ホテル阪急エキスポパーク)

2月:全国大会「京都大会」

#### 〉総務広報委員会(委員長:稲葉 英基 副委員長:上田 亨二)



4 月、通常総会・例会を開催。シニア会員を含め 86 名が出席しました。例会では、会長と委員会メンバーによる「ももいろクローバー Z」の仮装とダンス等で盛り上がりました。

10月には近畿ブロック大会「あふさか箕面大会」へ35名で参加。焼き肉店での昼食、分科会での普段目にすることのできないトンネル工事見学などで、見聞を広めました。

12月には臨時総会・例会を開催し、シニア会員を含む87名が参加。例会ではマジックショー、すいたんダンス等を行い、総会は厳粛に、例会は楽しくというメリハリの効いた設営でした。

#### ◇会員開発交流委員会(委員長:古川 貴晃 副委員長:瀧川 健一朗)

6月公開例会では、一般 955 名を含む 1,030 名来場という大盛況の中、竹田恒泰氏による講演を実施。日本人としての誇りや良さを改めて認識し、今後の商工業の発展に活かす機会としました。

8月交流事業では、4月に完成したあべのハルカスにて近代高層建築物を身近に感じながら、 60階の展望台で夜景観賞を行いました。

11 月の吹田バルでは、開催 3 年目ということで、商店街にも「自分たちの街は自分たちで盛り上げる」という意識が高まってきたようでした。



#### ◇涉外委員会(委員長:山崎 重博 副委員長:立野 司)

5月は、吹田産業フェアにおいて、東北復興支援の為に特産品の販売、観光紹介ブース設置を行いました。また、吹田にぎわい観光協会協力のもと、「すいたんタオルマフラー」等も販売しました。

7月には、ベトナムへ 19名で訪問。商業施設や戦争関連施設等の見学や現地邦人・ベトナム人経営者との食事会、ディナークルーズ等を行い、単に外の世界を覗くだけでなく、外から自らを見つめ直すことが出来ました。

2月は、全国大会「京都大会」へ39名で参加。伏見稲荷参拝、「月の蔵人」での昼食、月桂 冠大倉記念館見学の後、リビングバーにて吹田ナイトと多彩なしつらえでした。







25 周年事業では、メンバー 57 名、関係団体参加者 45 名、一般参加者 230 名、合計 332 名参加の中、地域資源活用によるガンバ大阪吹田ホームタウン化構想の具体的内容発表とサンフレッチェ広島戦のパブリックビューイング、サッカー教室、ピンバッジの制作、のぼり 100 本の設置等趣向を凝らし、趣旨を各種関連団体や市民に届けました。

1月の北地区合同例会では、吹田 YEG が主管となり、新スタジアム建設現場の見学を通じて、市民の寄付による日本で初めてのスタジアム建設の醍醐味を感じると共に、クラブハウス見学や J リーグの理念を学ぶことにより、地域交流活動の大切さを理解しました。

## ガンバ事業

ガンバ事業は吹田 YEG の 25 周年事業としてスタートしました。

周年事業委員会での検討の結果、当時、新スタジアム(現パナソニックスタジアム吹田)の完成を2年後に控えていたことから、「ガンバ大阪」を地域資源と位置付け、ガンバ大阪を地域経済の活性化に向けたツールとする事業を周年事業として選びました。そして、「ガンバ大阪 吹田ホームタウン化構想」を掲げ、3年間の継続事業としてガンバ事業を行うこととなりました。その後の展開は各年度の活動紹介のとおりですが、1年目(平成26年)は、大和大学にてパブリックビューイング(以下PV)等を行い、市民・市役所・市内の各種団体・商店街から賛同を得られ、2年目(平成27年)・3年目(平成28年)は、JR吹田駅前さんくす夢広場でのPV等を開催し、特に3年目のPVは吹田バルとのコラボ事業として相乗効果を得ることができました。

4 年目(平成 29 年)もガンバ事業を継続し、スタジアム観戦によりメンバー間でガンバ事業の意味を再認識したうえで、過去 3 年の成果を吹田全域に広げるべく市役所前駐車場での PV と市民とのスタジアム観戦を企画しました(ただし台風のため一部中止しました)。

そして 5 年目(平成 30 年)は、吹田を応援する事業者の交流団体「ガンバるタウン吹田」を結成するなどし、吹田 YEG の枠を超えたガンバ事業の活動の礎を造りました。

吹田における今後のガンバ事業の展開が期待されます。



【日本の出来事・世界の出来事】4月1日 STAP細胞の論文に不正があったと認定 3月7日 あべのハルカス開業 4月1日 消費税が5%から8%に引き上げ 9月7日 全米テニスで錦織が準優勝 10月7日 青色発光ダイオード開発の赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏がノーベル物理学賞受賞 2014年の漢字 「税」 2014年日本レコード大賞 「R.Y.U.S.E.I.」(三代目J Soul Brothers from EXILE TRIBE) 2014年新語・流行語大賞 「ダメよ〜ダメダメ」「集団的自衛権」 2014年ベストセラー 「長生きしたけりゃふくらはぎをもみなさい」(槙孝子)

# 平成27年度



第18代会長 富永明

#### 繋げる繋がる吹田 YEG

YEG の目的の根幹である「地域の商工業の発展への寄与」。この実現のためには、 まず会員同士が人として繋がり、信頼関係を互いに構築し、各会員事業所同士の 商交流が生まれ、その成果から家族や従業員の協力を得て、それぞれの事業所の 安定と発展へと結びついていく。これこそが地域の商工業の発展への近道である。 これが吹田YEGに入会した当初より、私が思い描いてきたYEGの理想の形であり、 その実現のため「繋げる繋がる吹田 YEG」というスローガンを掲げました。 この「繋げる繋がる」というフレーズを各事業のテーマに、各委員会が互いに競っ て細部に亘りさまざまな工夫を凝らして頂いたおかげで、全ての例会、事業が、 ホスピタリティ溢れる設営の連続でした。

また、このような委員会内の会員同士、委員会同士の繋がりがより深まり、以前 よりも増して、会員間での商交流の繋がりが見えてくるようになりました。 平成 27 年度は、まさに「繋げる繋がる吹田 YEG」化を進めることができた1年 であったのではないかと思っております。

#### Data & Schedule

期首会員数 88名 入会者数 25名

会長:富永明 直前会長:村上淳 顧問:坂本一成 生田謙一郎 監事:奥谷和子 山本耕一 副会長: 井谷 智子 堀田 裕二 嶋貫 哲治 専務理事: 山崎 重博 会計理事: 稲葉 英基

4月:通常総会・例会(新大阪江坂東急 REI ホテル)

5月:吹田産業フェア「東北復興支援物産展&商工会議所青年部企画商 品展」

6月:公開例会「経営者のための『人前で自分らしく話す方法』~スピ リットボイス・トレーニング~」(サニーストンホテル)

7月: 例会「YEG メンバーだからこそできる面白おかしい夢のビジネス 12月: 臨時総会・例会(市立吹田サッカースタジアム・ホテル阪急エキ プラン」コンテスト(吹田商工会議所)

8月:家族交流事業「地曳網で家族と『繋げる、繋がる』夏の一日~雨 1月:北地区合同例会(インスタントラーメン発明記念館・池田商工会 の神に挑戦!!~」(和歌の浦 網代浜)

9月: 例会「委員会対抗大運動会~バトンを繋ぎみんなの YEG を繋ぐ~」 2月: 全国大会「吉備の国おかやま大会」 (吹田市立第二小学校)

9月10月:地域活性事業「ガンバ大阪 吹田ホームタウン化構想〜ガンバを 応援して吹田を盛り上げよう!~」①バス運行実証実験(万博記 念競技場及び JR 吹田駅周辺) ②パブリックビューイング (JR 吹田 駅前さんくす夢広場)

10月:近畿ブロック大会「わかやま大会」

スポパーク)

#### ※総務広報委員会(委員長:古川 貴晃 副委員長:浜田 泰夫)



4月、通常総会・例会を開催。シニア会員を含め 93 名が出席しました。例会では、卒業生 へのビデオレター「音楽で繋げるみんなの YEG」を放映しました。

9月には市内の体育館にて委員会対抗大運動会を開催。8月までの各委員会で行った事業の 内容を連想させた椅子取り合戦、買い物競争、チーム対抗リレー等を行いました。

12 月、完成したばかりの市立吹田サッカースタジアム(後に改称)の VIP ラウンジにて臨 時総会を開催し、シニア会員を含む87名が参加しました。

#### 〉ビジネス交流委員会(委員長:石橋 理則 副委員長:大久保 和也)

7月例会では、参加者が8チームに分かれ、各チームがビジネスプランを作成し、プレゼン テーションにより点数を競い合いました。

また、この例会に向け、エンジェルタッチの会員のプロフィール欄をリニューアル。趣味・ 好きな食べ物・学生の頃のバイト経験など多岐にわたる内容を掲載し、メンバー間の交流 に繋げました。

1 月には、北地区合同例会(主管 池田 YEG)を開催し、第 1 部ではオリジナルカップラー メンの製作体験、第2部では合同懇親会を行い、3単会の間で交流を深めました。



#### >涉外委員会(委員長:上田亨二 副委員長:足立 聖治)



6 月公開例会では、池本美代子先生をお招きして、「人前で自分らしく話す方法」について ご講演頂き、「俯瞰」を意識することによって発声を変える方法を学びました。参加者からは、 「この例会がきっかけで自信をもって人前で話せるようになった」という声も聞かれました。 10月、近畿ブロック大会「わかやま大会」へ。シニア会員を含む 28 名全員がマッシュルー ムカットのかつらで参加して連帯感を深め、他単会からも注目を浴びました。

#### 地域活性委員会(委員長:石橋 直樹 副委員長:瓜生 晴彦)



9 月のバス運行実証実験では、ガンバ大阪の試合終了後、万博記念競技場から JR 吹田駅へ 無料でバスを運行させ、ガンバサポーターの試合後の動向を調査しました。

10 月のパブリックビューイングは、まちづくり協議会、商店会と共に実行委員会を立ち上 げて実現させ、当日は JR 吹田駅前さんくす夢広場が 1,000 名を超える来場者で溢れました。 2月は全国大会「吉備の国おかやま大会」にシニア会員を含む28名で参加。大会終了後は、 湯原温泉にて、委員会の企画した「どっきり中継」などで夜遅くまで楽しみました。

#### >会員交流委員会(委員長: 奥長 憲孝 副委員長:瀧川 健一朗)

5月の吹田産業フェアではブースを出展。「石巻やきそば」などの東北復興支援物産や、 吹田 YEG 企画商品「すいたん饅頭」等を販売しました。

8月の家族交流事業では、メンバーの家族を含む72名で和歌山へ。前日の台風のた め地曳網は実施できませんでしたが、アトラクション「勇者 YEG と海賊王」を開催。 委員会メンバーの情熱、発想力、なりきり力、「闘」率力と気配りで実現したこの企画。 メンバーの迫真の演技と難問の数々に、子供たちも大喜び。「来年もやらないの?」 の声が上がりました。

12 月例会ではじゃんけん大会を行い、優勝者には MSL(Most SuitaYEG Lucky)の 称号が与えられました。











# 平成28年度



第19代会長 井谷智子

#### 縁満 ∞えんまん∞

平成28年度は、会員の皆様やシニアの皆様、本会の皆様、行政の皆様、 地域の皆様、他単会の YEG 皆様とのご縁とご縁が大きなご縁となり無 限大にご縁が繋がっていくように願いを込めてスローガンを縁満∞え んまん∞とさせて頂きました。

30 周年を 2 年後に控える中、成熟してきた吹田 YEG は、その活動範 囲も拡がり、今後の期待も高まっております。その中、各委員会は委 員長を中心にチームワークで事業を乗り切り、各事業を成功に収めま した。

会員の常に事業をより良くしたいという向上心に感謝し、シニアの皆 様の温かい見守りに深謝いたします。

#### Data & Schedule

期首会員数 92 名 入会者数 29 名

会長: 井谷智子 直前会長: 富永明 顧問: 奥谷和子 山本耕一 監事: 村上淳 山崎 重博 副会長:石橋 直樹 瓜生 晴彦 嶋貫 哲治 堀田 裕二 専務理事: 奥長 憲孝 会計理事: 稲葉 英基

4月:通常総会・例会(新大阪江坂東急 REI ホテル)

5月:吹田産業フェア

6月:公開例会(吹田市立千里市民センター大ホール)

:実証実験事業(市立吹田サッカースタジアム・JR 吹田駅前周辺

7月:例会「業種の果てまでイッテ YEG」(吹田商工会議所大会議室)

8月:例会「京都祇園麦酒夜宴」(京都祇園 祇をん新門荘) 9月:例会「我が社のAI:人工知能化」(サニーストンホテル) 10月:近畿ブロック大会「城陽大会」

:海外研修事業(香港・マカオ・珠海)

11月:吹田ガンバル(JR 吹田駅前 さんくす夢広場)

12月:臨時総会・例会(大阪市中央公会堂)

1月:交流事業「新春バブル体育祭」(吹田市内屋内施設)

2月:北地区合同例会(箕面スパーガーデン)

:全国大会「北海道いわみざわ大会」

#### >総務広報委員会(委員長:東山 慎一朗 副委員長:中島 信一)



4月の通常総会・例会は、シニア会員等32名を含む109名の参加により開催しました。 8月例会は、「京都祇園 祇をん新門荘」において、現役会員とシニア会員の更なる交流を 深めることをテーマとして開催し、舞妓さんの踊りを楽しんだ後の歓談時間では、テーブ ル毎に現役会員とシニア会員が仕事やプライベートの事などで終始盛り上がりました。 12月の臨時総会・例会は、シニア会員等21名を含む92名の参加により開催しました。

#### 〉会員交流委員会(委員長:高森 寛 副委員長:足立 聖治)

7月例会「業種の果てまでイッテ YEG」では、新入会員と既存会員の交流を図ることを目的 として、それぞれが混在する各チームに分かれ、グループワークで答えを導いていく事業 を行いました。即席のチームもすぐに 1 つにまとまり、新たな「ご縁」が繋がった例会と

10月の近畿ブロック大会「城陽大会」では、お茶の歴史などの京都の文化に触れるとともに、 他単会との交流も大いに深めることが出来ました。

1 月の交流事業では、新入会員が中心となった企画、運営にて、バブルボールを使った「新 春バブル体育祭」を開催し、新たなご縁を繋げる事業となりました。



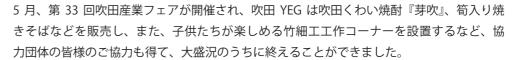
#### >涉外委員会(委員長:石橋 理則 副委員長:新宅 和彦)



6 月公開例会では、ラグビー男子日本代表のメンタルコーチも務めていたメンタルトレー ナーの荒木香織氏を講師としてお招きし、メンタルスキルをスポーツだけでなく仕事や日 常生活にいかに取り入れるかなど大変有意義なご講演をいただきました。一般の方を含め 200 名を超える方にご来場いただき、吹田 YEG の様々な活動をご理解いただくことができ ました。

10 月、香港・マカオ・珠海の海外視察事業を行い、発展著しい都市の視察を行うことで、 まだまだ勢いの衰えない中国経済を体感することができました。

#### 〉商売繁盛委員会(委員長:浜田 泰夫 副委員長:丸田 和賀子)



9月例会では、講師として松浦和博氏(パペルック株式会社)をお招きし、未来に必ず起こ りうる人工知能化の変革について講演いただき、想像力、可能性が膨らむ例会となりました。 2月、北地区合同例会(主管 箕面 YEG)を開催し、各単会の参加メンバーで「業種」「年齢」「家 族構成」等の偏りのないチーム(YEGBuddies)編成したうえ、「箕面の滝」で撮影した集合 写真を競い合いました。合同例会を通じて、単会を越えた長く、深い関係を築く機会とす ることができました。



#### 地域活性委員会(委員長:古川 貴晃 副委員長:佐賀 健太郎)



6月、ガンバ大阪 VS 湘南ベルマーレ戦において、ホーム試合後の万博外周周辺の混雑解消 策や経済効果の検証等を行うことを目的として、「市立吹田サッカースタジアム⇔JR 吹田駅」 間の直行バス貸切運行実証実験を実施しました。

11月、吹田ガンバルと称して、JR吹田駅前さんくす夢広場において、アウェイ戦パブリュッ クビューイングと第 5 回吹田バルが開催されました。PV イベント会場では 1,000 名近くの お客様に参加していただき、今年で5回目を迎える吹田バルでは、参加店舗およびバルチケッ トが最多数を記録するなど、ガンバ大阪と共に吹田のまちをより多くの人に知ってもらう事 業となりました。







【日本の出来事・世界の出来事】 8月8日 天皇陛下(現上皇陛下)が退位の意向示唆 4月14日 熊本地震発生 5月27日 オバマ米大統領が広島訪問 8月21日 同日閉幕したリオ五輪において、過去最多41メダルを獲得 11月8日 米大統領選でドナルド・トランプ氏が勝利 2016年の漢字 「金」 2016年日本レコード大賞 「あなたの好きなところ」(西野カナ) 2016年新語・流行語大賞 「神ってる」 2012年ベストセラー 「天才」(石原慎太郎)

# 平成29年度



第20代会長 石橋直樹

#### 「魅」~全力で楽しむ~

平成29年度のテーマ「魅」~全力で楽しむ~は、メンバーにとっても、 地域の皆様、関係諸団体の皆様にとっても、吹田 YEG は「人を惹きつ ける存在」として、これからも成長し続けるという願いを込めて、掲 げさせていただきました。

一年間の活動を通じて、各室・各委員会は、メンバー一人一人の魅力 を引き出しながら、各委員会・各室、引いては吹田 YEG の魅力を内外 に発信させていただきました。一部、天候に悩まされたこともありま すが、皆さんの弛まぬ努力により、どの事業も成功に収めることがで きました。

メンバー一人一人の熱い思いに感謝し、また、シニアの皆様、本会の 皆様の温かいご支援に感謝いたします。

#### Data & Schedule

期首会員数 111 名 入会者数 25 名

会長:石橋 直樹 直前会長:井谷 智子 顧問: 奥谷 和子 山本 耕一 監事: 富永 明 村上 淳 副会長: 奥長 憲孝 瀧川 健一朗 瓜生 晴彦 会計理事: 稲葉 英基 事務局長: 東山 慎一朗 室長: 足立 聖治 古川 貴晃

4月:通常総会・例会(新大阪江坂東急 REI ホテル)

5月:事業 「入って良かった『YEG』・久しぶりでも『YEG』」(ラグナ ヴェール OSAKA)

(市立吹田サッカースタジアム)

7月:例会「道頓堀 たそがれ BBO で会員魅力再発見!~『俺を誰だと 思ってるんだ?○○さんだぞ!!』(レストラン&カフェ MOULiN(ムーラン))

9月:公開例会「日本経済の動向と中小企業経営-中小企業経営者は今 何をすべきか? -」(吹田市立千里市民センター)

10月:近畿ブロック大会「近江守山大会」

: 地域活性事業「吹田ガンバる」(吹田市役所駐車場、市立吹田サッ

カースタジアム)

6月:事業「WE LOVE ガンバ〜吹田 YEG が、ガンバで 1 つになる!〜」 11月:地域貢献事業「Fan!Fun! 魅 WALK in 吹田 〜歩いて撮ってポイ ント GET ~」(千里南公園野外ステージ~吹田市内全域)

12月:臨時総会・例会(アニヴェルセル江坂)

1月:交流事業「吹田 YEG 天下分け目のチャンバラ合戦〜仲間と共に 全力で駆け抜けろ!~」(吹田市立第三小学校)

2月:北地区合同例会「YEGトーーク!○○好き会員 ~趣味で会員 の魅力を繋げよう!~」(パナソニックリゾート大阪)

: 全国大会「岐阜かかみがはら大会」

#### >総務広報委員会(委員長:丸田 和賀子 副委員長:榎本 健)



4 月、通常総会・例会を開催。シニア会員を含め 112 名が出席しました。例会では、卒業 生に学生服・セーラー服を着ていただき、卒業証書授与を行いました。

10 月には近畿ブロック大会「近江守山大会」へ。37 名で近江牛のちょっと豪華なランチ、 舟での八幡堀めぐりなどを楽しみました。

12 月には臨時総会・例会を開催し、シニア会員を含む 110 名が参加。歌番組を模した演出 にて次年度役員紹介を盛り上げました。

#### ◇地域貢献委員会(委員長:高森 寬 副委員長:田中 敏之)

11 月事業では、吹田市民に対して、地元の地域資源の魅力再発見を目的とし、吹田市内に 設置された 70 カ所以上のチェックポイントをめぐって獲得したポイントを競うゲーム 「Fan!Fun! 魅 WALK in 吹田」を実施しました。一般参加も含めて 179 名の参加者に、地元 に対する愛着や意識を高めていただきました。

2 月は全国大会「岐阜かかみがはら大会」にシニア会員を含む 24 名で参加。大会終了後は 岐阜市内の長良川温泉に移動し深夜まで懇親を深め、吹田YEGの一体感を感じました。また、 金華山ロープウェー乗車、岐阜城見学等も行いました。(ガンバる委員会も合同で担当)



進歩と調和、その先へ

#### 〉会員啓発委員会(委員長:新宅和彦 副委員長:小松友則)

5 月事業では、会場を北新地に設定し、役員経験者が体験談を交えて YEG の組織や意思決 定のプロセス、魅力、過去の事業等を伝えることで、会員に YEG の楽しさや事業を考える 喜びを感じてもらい、将来の役員へのきっかけを作りました。

9月公開例会では、立教大学名誉教授の山口義行先生を講師として招き、中小企業が力強く 活躍し続けるために、経営者は何をしなければならないのかを講演いただきました。アン ケートでは、吹田 YEG の 83%、他 YEG 及び一般の 94% が「講演が『とても役に立った』」 と回答いただきました。



#### 〉ガンバる委員会(委員長:佐賀 健太郎 副委員長:那須 良太)



3年間の継続事業で醸成した「吹田×ガンバ大阪」を吹田全域に広げるべく事業を実施。 6月はメンバーを対象に、スタジアムで講演・アトラクション・グルメツアー・ピッチ見学・ 試合観戦を行い、77名がガンバ大阪の良さを体感。10月は市民参加型イベントを2週にわ たり実施する予定でしたが、1 週目のパブリックビューイング + メンバー屋台ブースは、 台風で中止。2週目は試合を観たことのない一般市民 155 名とともにスタジアムへ。試合後、 多くのガンバファンに吹田の魅力を伝えるべく、JR 吹田駅前直行バスで 250 名以上を吹田 バルへ誘導しました。

#### >会員交流委員会(委員長:松下公則 副委員長:樋上大介)



7月例会では、道頓堀川沿いの店内及びオープンテラスにて、開放的な気分でバーベキュー を楽しみながら、ゲームアトラクションを行い会員個々の人柄や魅力を改めて共有しまし

1 月交流事業では、会長と各副会長を大将とする4チームに分かれて、スポンジ製の「刀」 で相手の腕につけたボール状の「命」を落とすチャンバラ合戦を行いました。

2 月の北地区合同例会では、吹田 YEG が主管となり、単会の枠を超えて、趣味や好きなこ とが同じ会員同士で共通の趣向をネタに盛り上がりました。(会員啓発委員会も合同で担当)









【日本の出来事・世界の出来事】 1月20日 ドナルド・トランプ氏が米国大統領に就任 2月24日 プレミアムフライデー発足 3月3日 ニンテンドースイッチ発売 4月10日 浅田真央フィギュアスケート引退 5月10日 文在寅氏が韓国大統領に就任 2017年の漢字 「北」 2017年日本レコード大賞 「インフルエンサー」(乃木坂46) 2017年新語・流行語大賞 「インスタ映え」「忖度」 2017年ベストセラー 「九十歳。何がめでたい」(佐藤愛子)

# 平成30年度



第21代会長 奥長憲孝

#### 三つの「わ」 ~"和"と"輪"と"環" 協調と調和をより強く~

近年、他の青年部からも羨ましがられるほど入会者が増え、会員の出席率 も高水準で推移してきましたが、それに伴い組織運営の変化が必要な時期 となってきました。またこの年は、例会事業の開催の時期に大阪北部地震 や台風等多くの自然災害に襲われ、今後の運営方法についても考えさせら れました。平成30年度は会員や行政、地域の皆様との人との『和』、チー ムワークの『輪』、これからの吹田 YEG がより強い組織となるための環境 を整えるための『環』と、それぞれの「わ」に想いを込めてスローガンを 3 つの『わ』としました。この 3 つの『わ』を単年度だけではなく、この 先の次世代のメンバーに繋げてもらい、会員同士の『わ』をより強くして いだだければと思います。最後に、議論を重ねた内容の濃い事業を開催し てくれた吹田 YEG のメンバー及び協力頂いた関係者に感謝するとともに、 私自身が一年を通じて多くの経験をさせていただいたことに御礼申し上げ ます。

#### Data & Schedule

期首会員数 124 名 入会者数 20 名

会長: 奥長 憲孝 直前会長: 石橋 直樹 顧問: 瓜生 晴彦 富永 明 監事: 井谷 智子 村上 淳 副会長: 稲葉 英基 足立 聖治 堀田 裕二 瀧川 健一朗 専務理事: 佐賀 健太郎 事務局長兼会計理事: 田中 敏之 室長:新宅和彦 古川貴晃 東山慎一朗

4月:通常総会・例会(新大阪江坂東急 REI ホテル)

5月:吹田産業フェア(タイムトラベラー・ゲーム、吹田ガンバる、唐 揚げブース)

:研修例会「七つの習慣をゲームで体験しよう!」(吹田商工会議所)

6月:交流例会「君の名『わ』~みんなで作る YEG ストア」(阪急グラ ンドビル塚田農場)

7月:公開例会「アイデア工場のつくり方~発想を無限大に~」(大和 大学)

:地域振興事業「吹田大冒険~すいたんを救え~」

9月:近畿ブロック大会「播州かさい大会」

10月:企画事業「【LIFE LINE】体感型防災訓練アトラクション・ライフ ライン」(吹田さんくすホール)

11月:臨時総会・例会(ミライザ大阪城)

12月:産業振興事業「ガンバるタウン吹田」発足

1月:交流事業「リアル YEG ストア巡り」(吹田商工会議所〜吹田 YEG メンバー事業所~セカイノヘイワ)

2月:北地区合同例会「温故知新 少子高齢化をビジネスに変える~伏 尾台小学校廃校の事例からの発想~」(池田市立伏尾台小学校、

: 産業振興事業「ガンバるタウン吹田」 スタートアップイベント (パ ナソニックスタジアム吹田)

3月:全国大会「日本のひなた みやざき大会」

#### 総務委員会(委員長:小松 友則 副委員長:澤田 直己)



通常総会・4 月例会を設営し、シニア会員 30 名含む 124 名に参加頂きました。例会では、 卒業生 6 名が一体感溢れるダンスで式を盛り上げてくれました。また卒業生に、現役会員 からメッセージを書いて卒業アルバムを贈呈することで、この場を全員で共有する一体感 を生み出すことが出来ました。

臨時総会・11 月例会は、大阪城内のミライザ大阪城で開催しました。総会では、平成 31 年度役員が選任され、中長期ビジョン 30 の策定状況を報告しました。例会では、30 周年 へ繋げることを狙って吹田 YEG に因んだクイズで歴史の重みを感じてもらいました。

#### >涉外広報委員会(委員長:西村 明洋 副委員長:松本 章吾)

7月公開例会では、博報堂の加藤昌治先生をお招きし、「アイデア工場のつくり方」というテー マのもと、良いアイデアを出すための考え方や方法についてワークショップ形式で学びま した。会員以外の方にも多数参加頂き、YEG 活動を広めるいい機会となりました。

北地区合同例会は、池田 YEG が主管となり、第一部では旧伏尾台小学校の活用方法につい て講師を招きグループディスカッションを行いました。第 2 部は、地元の温泉旅館で懇親 会を開催し、北地区の連携を深めることが出来ました。

また通年でホームページや facebook ページ等の運営を行いました。広報を強化するため、 ホームページへ過去の事業報告や今後の事業予定等も新たにアップしました。



#### >会員交流委員会(委員長: 榎本 健 副委員長: 小谷 正成)



6月例会は、グループに分かれて一人6分間で自分の事業をプレゼンし、その後質疑応答も 行い、PR シートを完成させました。このシートは facebook ページ「吹田 YEG ストア」に 後日掲載し、お互いの事業を知り、繋がり深める機会となりました。

近畿ブロック大会「播州かさい大会」は、記念式典等参加後、台風接近のため早めに帰阪 しましたが、一日行動を共にすることで、メンバー間の『わ』が深まりました。

1 月例会では、飲食店や物販店を営む吹田 YEG 会員の店を廻りました。各グループは、異 なる委員会メンバーを中心に構成したため、新たな繋がりを築くことが出来ました。

#### 〉企画研修委員会(委員長:樋上 大介 副委員長:高山 智嘉)

5 月研修例会では、世界的ベストセラーである「七つの習慣」を題材としてボードゲームを 通じて成功の原則を体験し身に付けるべく開催しました。講師の長谷川夕起先生によれば、 一度目が一番自分の性格が出て、自分の強みや弱みがよく分かるとのことでした。

10 月例会では、グループで避難準備等のミッションをクリアし、時間内に安全確保を目指 す体感型防災アトラクションを行いました。吹田市長等にも参加してもらい、災害時の連 携の必要性を感じました。また第 2 部では、丸田和賀子委員を講師に、災害時等にパニッ クにならない思考のトレーニング(マインドフルネス)について学びました。

また本年度は、8月と1月に有志の研修セミナーを実施しました。入会歴の浅いメンバーを 中心に参加してもらい、YEG をより深くより近く知る機会となりました。

#### 〉地域振興委員会(委員長:岩本 晴之 副委員長:浜田 泰夫)



「勇者よここに集え!吹田大冒険~すいたんを救え~」は、7月、吹田まつりと共催で事業 を開催しました。事業は、渡された地図に沿って、バス、電車の公共交通機関を使用して 練り歩き、すいたんを救うためクイズに答えながら吹田市内を冒険しました。参加した家 族や子供達は、楽しみながら吹田の名所を知ることができ、吹田の魅力を再発見する機会 となりました。

#### 〉産業振興委員会(委員長:那須 良太 副委員長:小山 博司)

5月、吹田産業フェアに3つのブースを出展しました。「タイムトラベラー・ゲーム」では、 市民に会場内のブースを巡回して頂くとともに、謎ときにチャレンジして頂きました。「吹 田ガンバる」ブースでは、ガンバ大阪の応援を通じて吹田を活性化する吹田 YEG の活動を 市民に身近に感じて頂きました。また、唐揚げブースも大盛況となりました。

12月には、吹田 YEG の枠を超えた事業者の交流団体「ガンバるタウン吹田」を発足し、ポー タルサイトを公開しました。さらに、2月には「ガンバるタウン吹田」のスタートアップイ ベントを開催して、100社を超える登録事業者に参加頂き、交流を深めました。



【日本の出来事・世界の出来事】 6月12日 史上初の米朝首脳会談開催 6月18日 大阪府北部地震 9月4日 台風21号の高潮により関西空港が冠水 11月23日 2025年万国博覧会、大阪開催決定 12月1日 市立吹田市民病院が健都へ移転 3月16日 おおさか東線、南吹田駅開業 2018年の漢字 「災」 2018年日本レコード大賞 「シンクロニシティ」(乃木坂46) 2018年新語・流行語大賞 「そだねー」 2018年ベストセラー 「漫画 君たちはどう生きるか」(原作:吉野源三郎 画:羽賀翔一)





大久保 和也

瀧川 健一朗

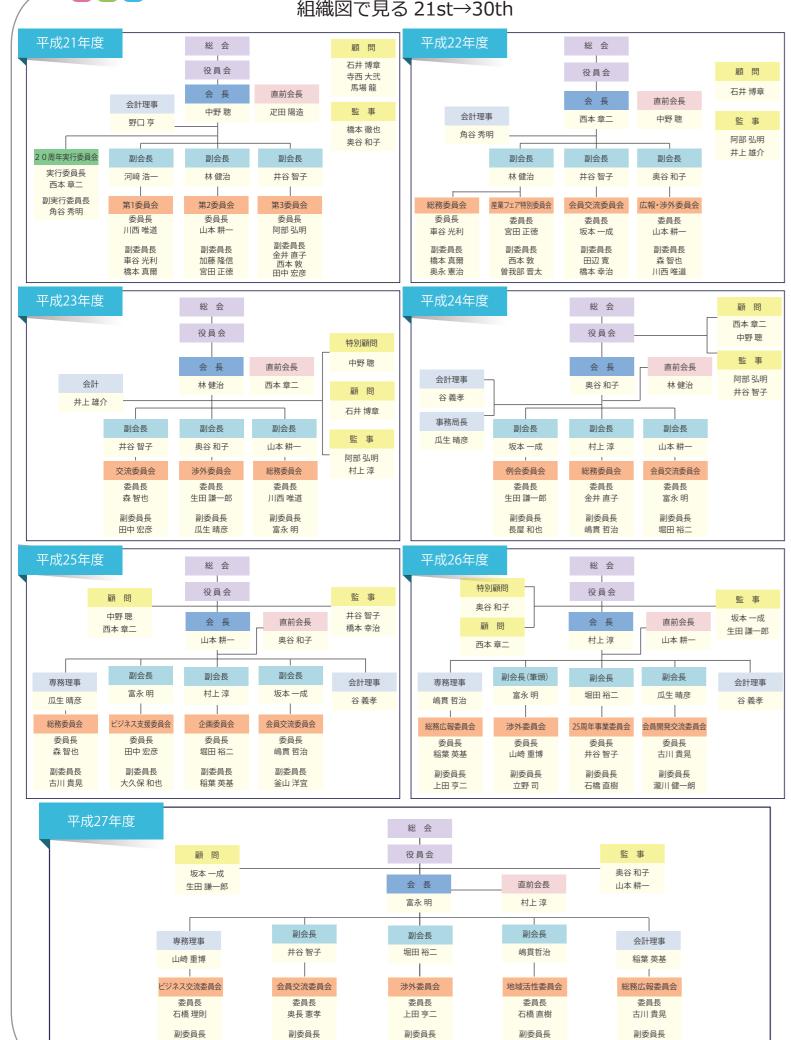
足立 聖治

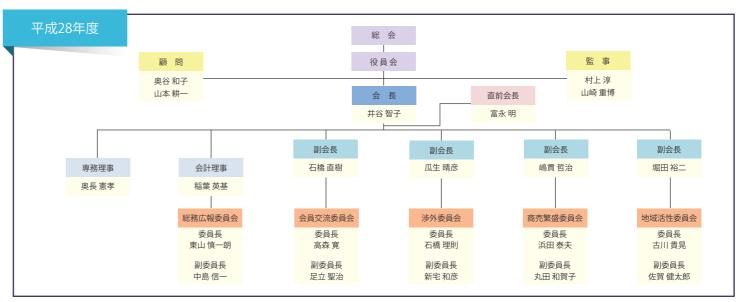
瓜牛 晴彦

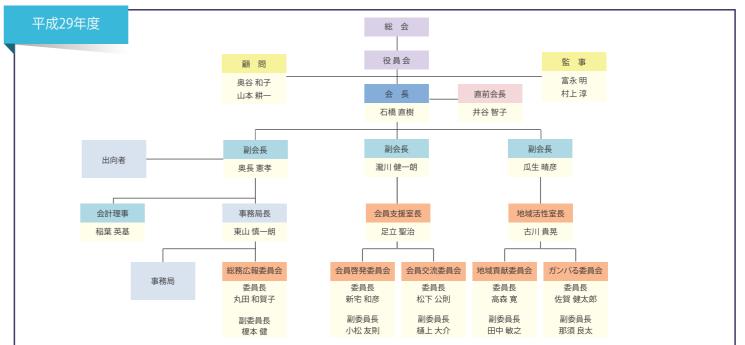
浜田 泰夫

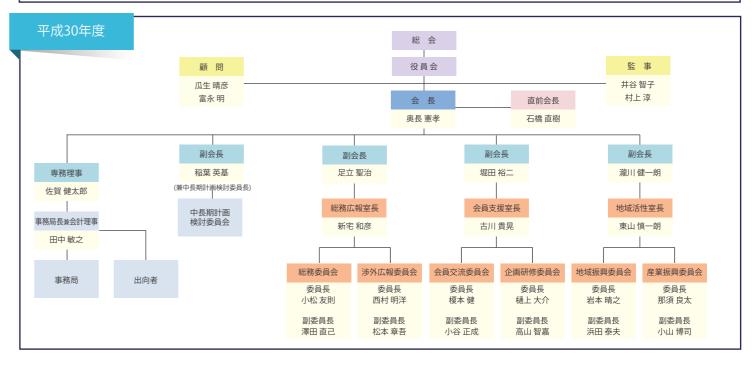
#### 組織図で見る 21st→30th











21st → 30th Progress

#### メッセージ

#### 平成24年度府連会長を拝命して

吹田YEGが平成16年度近畿ブロック大会を主管し、石井博章先輩が近畿ブロック会長と府青連会長を兼任された年に入会した私が、平成24年度の府青連の会長に就くことになろうとは想像もしませんでした。

就任の前年度は府青連も20周年を迎え、9単会に増え、委員会活動も活発になっており、私の会長としての役割は日本YEG・近畿ブロック・府青連・各単会のパイプ役と考え、「つなぐ」をスローガンに致しました。

当時は無理を言って、メンバーと懇親を深め、各地域を理解する為に、各単会の地で常任理事会を開催し、広く交流場を作って頂きました。

若輩者の私が1年間会長として頑張れたのも、各単会から出向して頂いた先輩達が支えて下さった賜物です。

現在、全国に34,000名のYEGメンバーがいます。その友情と繋がりを活用し、吹田で活躍することも、世界に翔くこともできるのです。

現役皆様、「Boys, be ambitious」可能性は無限大ですよ。

平成24年度大阪府商工会議所青年部連合会会長 井谷 智子



#### メッセージ

### 同好会活動にご参加ください

吹田YEGには、2019年9月現在、公認の同好会として、DB部(Delicious Breakfast部:清く、正しく、美味しく食べるため、適度な運動と様々な情報交換をしながら交流を深める同好会)、フットサル部、ゴルフ部、バスケットボール部の4つの同好会が存在し、またその他さまざまな非公認同好会があります。

それぞれの同好会は、活動頻度の差はありますが、趣味を同じくするメンバーが定期的に集まって活動を行なっており ます

吹田YEGの会員数が約150人、シニア会員を含めると200人を超える組織となった今、月1回の委員会活動や事業・例会等では全員との交流をはかることが難しくなってきています。同好会活動は、共通の話題をもつことで、メンバー間の親睦を図りやすくなり、また親しくなることで、YEGの事業について議論を深めたり、仕事のつながりを構築したりするなど、さまざまな効果が期待されます。

いずれの同好会も、メンバーの参加を募集しております。あくまで同好会活動ですので、ご家族と一緒に参加していただくことも可能です。

少しでも興味があれば、遠慮せず、ぜひ参加してください!

DB部・フットサル部設立発起人 ゴルフ部第3代部長 松本 章吾











# Members

# ~ 会員名簿 ~





























平成14年度入会

# 入会年度順 会員名簿



玉城 勇介

上田 行洋

<b>▼</b>	<b>▼</b>	\bullet \bull	新大阪江坂 東急REIホテル	(株)エスケークリーン	寺田社会保険 労務士事務所	飛龍山願成寺	(有)藤本商事	上田会計事務所	豊田産業(株)
村上淳 村上淳司法書士事務所	田中 宏彦 税理士法人 イースリーパートナーズ	大久保和也	瀧川健一朗 (株)リバフォール	櫛田 靖介 (有) クシ建	榎本健 (株) I S M	小松友則パソコンの駅	小山 博司 緑地スポーツクラブ(株)	河村 大地 (有)カワムラ化エ	岡本 康キーワールド江坂
平成15年度入会 ▼	曽我部 晋太	関俊平	平成25年度入会 ▼	新田 真弓 まゆみ社会保険 労務土事務所	岡林 光明 (株) ジェンツ	末岡俊一郎 OST不動産(株)	濱野 良平 エム・アイ・ピー(有)	酒井 雅之	田村 直紀 渡辺塗料(株) 大阪営業所
森智也 綜合建物管理(株)	平成21年度入会 ▼	森高 悠太 司法書士 もりたか法務事務所	立野司たての税理士事務所	木下平一(株)木下工務店	樋上 大介 ひがみ接骨院	松下公則 メットライフ生命保険(株)	西村 明洋 (株) 関根工務店	北本誠フリーアナウンサー	福田泰三ティースリーホーム
村上哲 KMTエンジニアリング	古川 貴晃 (株)不動建装	伊藤 貴胤 司法書士、社会保険労務士 行政書士、とう合同事務所	石橋 理則 (株)ブルーム	平成26年度入会 ▼	東山 慎一朗 弁護士法人 千里みなみ法律事務所	亀岡 尚則 かめおか法律事務所	中本吉彦 (株)ナカモト	平成29年度入会 ▼	中井 久子 ソニー生命保険(株) 大阪ライフプランナー センター第6支社
田中 敏之 栄電気(株)	平成22年度入会 ▼	那須 良太 那須法律事務所	山﨑 智義 トータリティー 法律事務所	浜田 泰夫 (有)ミスター タイヤマン江坂	平成27年度入会 ▼	松浦 高士 (有)オクトバース (ホテルクライトン江坂)	村上秀樹 (株)ヴィレッジ	岸本広志	和田 良一 (株)スペース
平成16年度入会 ▼	釜山 洋宜 (株) HIRO建築リフォーム	平成24年度入会 ▼	桑原 徹行 (株) クワハラ・ エンタープライズ	岡田 眞里 吹田江坂行政書士事務所	佐藤 公宏 ネッツトヨタニューリー 北大阪(株)吹田店	上野 穣也	高山智嘉 伸和興業(株) (竹寅産業(有))	亀井 義明 メットライフ生命(験(株)	小林 美紀 (協)ビジネスナビ
井谷 智子 (有) T Mプランニング テクノメディア	堀田 裕二 アスカ法律事務所	稲葉 英基 稲葉税理士事務所	澤田 直己 吹田市議会議員	丸田 和賀子 社労士事務所 みなわコンサルティング	平本 茂樹 レストラン シュバル	平成28年度入会 ▼	寺田健	藤森 勝士 ガストロノミア Estate	森 俊弥 MORIYA
堀田 誠 (株)堀田工務店	岡村 努	松本 道夫 日本設備工業(株)	足立 聖治 (有)足立電話商会	北村 知也 <sub>日本イメージ</sub> <sub>システムズ(株)</sub>	櫻田 浩太 (株)ブラサニ	西尾智行(株)ガンバ大阪	中須隆二豊津鍋屋瀧	大野 英雄 (株)紀の国屋	廣瀬 考俊 行政書士 ブリッジ法務事務所
平成17年度入会 ▼	中西 彰夫中西工業(株)	杉江 友介 大阪府議会議員	高森寛(株)マルサン	新宅 和彦 アクアテクノシステム ソリューションズ(株)	石橋 勇也 Volare	岩本晴之岩本工業(株)	上野嘉ライフコンサルティング㈱	西川雄治 千商ハウス(株)	佐渡 洋克 関西パートナーズ 法律事務所
明石 康裕 SLS(株)	嶋貫 哲治 ファイナンシャル アライアンス(株)大阪支店	松本 章吾 吹田駅前法律事務所	ニロ和久(株)ソティル	馬場 慶次郎 (株) ビームセンス	佐賀 健太郎 Kentaurs	越智 克臣 理髪屋ラッキー	伊藤 充 日本通信電設(株)	高木真一高木酒店	酒井 嘉彦 (株)北大阪サービス
	西島功(株)LGT	石橋 直樹城東住宅建設(株)	奥長 憲孝 (株)紙谷工務店	吉田雄一	引間和行フルーツ千里	明原健一	谷川 安德 グロース法律事務所	田中康介	木下 靖雄







寿功建設(株)

大西 宏明

(株) VIDA MIA

伊藤 正樹

藍澤證券(株)吹田支店



(株) 阪急阪神ホテルズ





馬場龍+設計事務所

紙谷 正行

中江 得雄

中江硝子(株)

石井 博章



(株) デンソン

大井手 豊

金井 直子

谷直人

春日物流サービス(株)

奥山 幸生



武蔵丘短期大學

梅田 幸久

成尾友紹

原浩二

谷 義孝

井上 大輔

富永明

瓜生 晴彦

杉山 康弘

プルデンシャル生命保険(株)

寿し割烹・仕出し なるを

(株)エイチ・アール・プラン

谷公認会計士•税理士事務所





新井 性哲





(有)トータル ライフ



且過ちあき





佐藤 文孝

北摂エナジー(株)









(株)西谷工務店





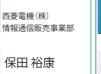


坂東 有子









井村 卓治





大枝印刷(株)







大前 清彦





(株)石川工務店







坂本油化(株)



アヴェルエステート(株)









高倉 努



中島信一





(株)インフォアライブ

高垣 直史



三坂 勝幸





池田 誠一郎 上田 浩司 大岡 一樹 大岡 勇 小儀 良治 柿白 保 角谷秀明 香島 直也 金子薫 河野 哲治 木下平人 木原 一郎 斎藤 正一 坂口 利郎 嶋村 裕吏 杉本 良一 関 健次 髙津 昇 瀧川 紀征 田中 茂治 豊岡 正一 中臺 雅夫 中西 敏明 中村 英夫 中山 安信 長屋 興 西野 修 野口亨 橋本 治 橋本 徹也 福岡 健治 藤川晃司 細川憲和 堀田 稔 堀脇 隆広 松田 宜夫 松田 廣央 三幡 輝男 山口 篤信 山口典彦 山出 満 山本 啓方 淀井 満福 渡邉 眞

戸田 好信



足立 善信







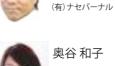
光洋ビジネス(株)



(有) ユタカプラザ



林 健治



奥谷 和子

西本 章二

堀本 雄一

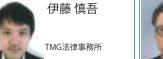
(株)オフィスフェイム



麻生 満美子

田邊寛

上田亨二 中条明 (株) 岡野工芸社 南吹田 クリスタル結婚相談所 土屋篤 木下 基司 (有)さんぱつや 新栄運送(株) 山崎 重博 蓬 正紀









平成31年度入会

高村 将敏

(株) ウィンツープロ

山本 寛之

安原 英夫

英和オート(株)

小田 博嗣

内田 健太

三科 元明



樋野 慶丈

西本 敦

アプコ保険(株)

中瀬 芳邦

豊森 惣一

ウィルパワー管理

清水 真嘉

マック住建(株)

小川伸一

田中 和彦

赤六 丼丸 豊津店









榎原 友樹

(株)イー・コンザル

東京海上日動火災保険(株)

奥村 顕

大久保陽

HALU CRAFT

田村 誉泰

有限会社ウインズ









大幸薬品(株) 味舌 隆司





ひきだ歯科医院



内山 正之 (株)西日本出版社









車谷 光利

# OB 会員 明石 達也 阿部 弘明



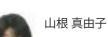














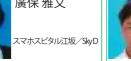


長井 晴紀











一休不動産(株)

石橋 司也



角田啓介 (株)K produce nice



渡邊 良享





(有)ハートランド 柴田仁



生田 謙一郎







(株)ニード

河﨑 浩一







Members Harmony

メッセージ

#### 吹田商工会議所青年部の役員になるという事

吹田YEGには、会長、副会長、会計、理事、監事、直前会長という役員が選任されます。別に顧問を設置する事も出来ます。 役員には、役職ごとに「任務」が与えられます。

「任務」とは「責任を持って果たすべきつとめ」という意味です。

会長には会長の、理事には理事の果たすべき務めがあります。その内容は規約に記載されていますが、それをどのように解 釈してどのように執行していくかは任命された役員の能力や経験や意気込みやセンスに左右されます。事実、吹田YEGでは単 年度制をとっていますので、年度ごとに特色のある事業が企画され実施に至っています。事業に参加される皆様は多少の不 手際が目に着いたとしても、事業を企画した委員長の熱意に心打たれる事もあるのではないでしょうか?私が知るかぎり吹 田YEGの役員でその「任務」を全うしなかった者は一人もいないと記憶しております。

さて、皆さんに役員のオファーがあったらどうされますか?

断る理由を挙げたら100個位出てくるかもしれません。でも、そこは思い切って「はい!喜んで!」と言ってみて下さい。後 の事はなんとかなるでしょう。ならなかったら役員の誰かに相談してみて下さい。あなたが一生懸命取り組んでいれば、絶 対に誰かが助けてくれるはずです。

自身の仕事や業界団体では経験する事の出来ない、公益的な団体だからこそ味わえる達成感や組織運営を学ぶ事が出来るは ずです。少なくとも私にとって吹田YEGでの役員経験はとても大きく価値のあるものでした。そして、皆さんにとってもそれ が人生の「プラスワン」になるよう心から祈っております。

第17代会長 村上淳







#### メッセージ

### 「中長期ビジョン30」について

前回のビジョン(平成17年度長期計画委員会(村上淳委員長)による「ビジョン2005」)の策定時から吹田YEGと吹田 YEGを取り巻く様々な環境が大きく変化しており、改めて見つめ直す必要があると考えられたのが今回の「中長期ビジョン 301 策定のきっかけです。

策定に向けて、平成30年度、中長期計画検討委員会が置かれ、委員会メンバーを複数に調査班として分け、まずは周辺事情 の調査研究を行うことが重要と考え、それぞれ収集した多くの資料からデータ化等したものを基に吹田YEGの現状と課題を 文書化しました。特に苦労したことは、資料収集はもちろん、吹田YEGがその課題を達成するための方法を検討することで した。

このような調査研究を経て今後5~10年を見据えて策定し、平成31年度通常総会において承認された「中長期ビジョン30」 は、吹田YEGの目指す未来の姿を示すものと位置付けており、また内容についても皆様に理解しやすいものであると考えて おります。

今後この「中長期ビジョン30」を意識しながら青年部活動に取り組んで頂き、また10年後にも、これまで以上に多種多様 の環境が変化していると予想されますので、今回のビジョン策定を思い出して頂き、吹田YEGを新たに見つめ直す機会を持 って頂ければ幸いに存じます。

平成30年度中長期計画検討委員長 稲葉 英基









# Vision

# ~ 中長期ビジョン30 ~

















































# 中長期ビジョン30

### -NEXT 吹田 YEG-

#### はじめに

近年、世界人口の急激な増加が続き、現在の世界の人口は 74 億人 を突破、5年後には約80億人になると予測されています。

これに対して、我が国の人口は出生率の低下に伴い 2010 年をピー クに8年連続で減少しています。この傾向は今後も継続することが 予測されており 2030 年には 65 歳以上の高齢者 1 人に対し、現役 世代が2人という比率になる時代が到来すると言われております。 吹田市においては、その立地性や利便性による良好な居住環境が評 価され、現在も人口は増加し続けているものの、長期的にみればこ の状況が持続できるとは限りません。

また、経済環境をめぐる問題は人口に関するものだけには限りませ ん。中国やインドをはじめとするこれまで「途上国」と言われてい た国の経済成長が著しく、今や世界経済を牽引するまでに至ってい ます。AI、ロボット、IoT 等の第 4 次産業革命と言われる産業構造 の変化が急速に進んでおり、企業規模の大小を問わず世界中でこの

変化への対応が求められています。

一方、頻発する地震や水害等の予測を超えた自然災害に対しても、 行政にすべてを任せるのではなく、地域を支える地元企業として、 災害に対し地域に密着した準備や対応能力が求められています。

このように、我がまち吹田を取り巻く様々な環境は日々変化してお り、どのような状況下でも我々が目指す大きな目的に向け一歩でも 近づくため、今まで諸先輩方が積み上げてきた歴史をしっかりと受 け継ぎ、新たに今後5~10年を見据えた「吹田商工会議所青年部 中長期ビジョン30」を策定しました。

この中長期ビジョンのもと、個性豊かな吹田 YEG メンバーの持つ 力を結集し、各年度のスローガンを加えてより大きな推進力を得る ことで、吹田 YEG が掲げる目的に向かって着実に力強く進んで行 きます。

#### 吹田 YEG の目的の再確認

吹田商工会議所は商工業の改善・発展を目的とする公益経済団体で あり、その中でも中心的役割を担っている青年部には、吹田の経済 の未来が懸かっているといっても過言ではありません。経済情勢・ 産業構造の大きな変化の中、我々は若きリーダーとして常に先を見 据えて行動し、地域経済をけん引することが期待されています。 そして、我々吹田 YEG の目的は、青年の立場から商工会議所の事

業に参画することにより管内の商工業の発展に寄与し、併せて会員 相互の啓発と親睦を図ることにあります。我々は、常にこの目的の 達成を目指して、地域経済の発展の大きな力となり、また、会員自 身の事業発展にも繋げていかなければなりません。

その実現のためには「ビジョン=目指す未来の姿」を形にして行動 に移す必要があります。

#### 吹田 YEG の組織の歴史

吹田 YEG は、吹田商工会議所の活動をより活発にするために、青 年の力を結集させる目的で平成元年に設立されました。設立当初は、 会員数 60 名、予算額約 180 万円からのスタートでした。その後、 卒業された先輩がシニア会員として、人的また経済的にもご支援い

ただいたこともあって、現在は、会員数約200名(シニア会員含む)、 予算額については、約 550 万円の規模で運営されるまでに至りま した。活動内容についても、公開例会や市民向けの対外事業も積極 的に行えるようになりました。

## 吹田 YEG の現状と課題

平成 24 年以降、吹田 YEG の会員数は飛躍的に増加する傾向が続い ており、現役会員数では 150 名に迫る規模となりました。これに シニア会員を加えると 200 名近い会員を抱える吹田市内でも有数 の団体となります。

会員数の大幅な増加により、吹田バル、ガンバ大阪関連事業(パブ リックビューイング等)や FanFun 魅ウォーク、吹田大冒険など大 規模な対外事業を実施することが可能な団体となりました。また産 業フェアにおけるブース出店や運営への参加についても、年々規模 を拡大してきました。その他、吹田まつりへの参画等、吹田 YEG

の影響力が年々大きくなり、他の団体からも協力を求められる存在 となりつつあります。

我々吹田 YEG が吹田市内の商工業の発展のために、効果的な対外 事業を今後も実施していくためには、会員同士が深く、そして強く 結びつく関係を築いていくことが重要です。しかしながら、会員数 の急増に伴い、同じ団体に所属しながら、面識のない会員も増えて きており、このことは、例会や各種事業への出席率の低下を招きか ねず、ひいては吹田 YEG の活動目的を周知徹底する障害になりか ねません。そのためにも、親睦事業や各委員会、その他各種の事業

を通じて、会員間の連携を密にし、一人でも多くのメンバー同士で 顔や名前、職業を一致させることができるよう、更なる工夫が必要 となります。

同時に例会や対外事業、多種多様な青年部活動への積極的な参加に より、各メンバーが吹田 YEG の存在意義、目的、そして自身の関 わり方についてあらためて深く理解することが必要です。

さらに、各会員はそれぞれの貴重な時間を費やすことで青年部活動 を行っています。このことは、各会員が青年部活動で得た貴重な経 験と培った人脈を各事業所に持ち帰って活用しなければ意味があり

ません。また、時間を浪費することなく、有効かつ最大限に効果を 発揮できるよう、各会員には、委員会や各種事業に臨む姿勢が求め られています。

最後に、前述したとおり、吹田 YEG はこれまでの30年の歴史の中で、 吹田市内だけでなく、他団体等にも影響力や発信力をもつ団体とな りました。その結果、吹田 YEG のメンバーは、これまでよりも周 囲から注目されていることを意識し、事業の際だけでなく、日ごろ の行動においても、周囲に配慮することを意識した行動が求められ ます。

#### 課題達成のための中長期ビジョン

#### (1) 誇れるまち、「吹田(ブランド)」の実現

- 地元の声を反映した提言活動の実施
- 吹田の未来や課題、事業活動の参考になるような公開事業の開催
- 市民や事業者が地元意識を高める対外事業の実施
- 市内の大学・学生・企業等の連携による地元商工業の活性化

我がまち「吹田」は、前段にもありますが人口減少が進む日本国内 において、毎年多くの人が流入し人口が増えている大阪府下でも貴 重な区域です。これは、歴史上、吹田が「商都大阪」を強く意識し ながら発展しつづけてきたという経緯があり、恵まれたインフラ環 境の中で、その利便性や整った居住環境を魅力として発信してきた ことに起因していると思われます。また管内に大学が五つもあるこ とによる若者の活性化も要因として考えられます。

しかしながら異なる歴史上の側面として、中世以降、現在の吹田市 の市域が一つのまとまった区域として存在したことがなく、現在の 市域は、吹田・岸部・豊津・上新田の一部、そして最後に山田が合 併してできたという経緯もあり、統一化された「吹田というまち」 への意識はなく、居住地としての満足度は高いが故郷としての認識

度は低いようです。

整備されたインフラをベースにした都市の魅力は、高所得者層の 流入を促進し、居住環境や教育環境・生活環境の良化に大きく貢献 している反面、自然災害による環境の変化や近隣都市での新たなイ ンフラ整備によって、その優位性が将来に渡って担保されるとは限

これらのことを考慮し、地元商工業の発展につながるような行政 や地域諸団体との連携、また地元商工業者の声を反映した本会との 共同事業等により、既存の地域資源の有効活用や、新しい試みによ る地域の活性化など、将来、市民や商工業者が吹田に住んで(営んで) 良かったと思える街になることを目指します。

#### (2) 青年部活動の再確認

- 青年部活動への積極的な参加による会員相互の目的の共有
- 会員向けに青年部活動に関するセミナーの開催
- 青年部活動の自企業への還元に関する方法の研究

我々は、今後起こりうる時代の変化に対応するために、青年経済人 として自由かつ革新的な発想が求められています。そのなかで、迷 うことなく青年部活動を行うためには、この活動がどのような目的

を達成するために行われるのかを再確認・再認識する必要がありま す。その目的達成のために、事業や例会、委員会がどのような役割 を持って企画運営されているかを理解しなければなりません。

#### (3)効果的な事業・効果的な会議

- 統一された会議ルールの作成・徹底
- 事業の宣伝効果や効果的な情報発信のための SNS 活用
- 事業(委員会)における役割の細分化とそれぞれの責務の遂行

委員会においてひとつの事業を企画・運営することはかなりの労力 を要します。我々会員は、自事業の活動時間を割いて青年部活動に 従事しており、すべてのメンバーはそれぞれの貴重な時間が使われ

ていることを考慮し、それぞれの役割・責務を十分に果たすことで、 最大限に効果を発揮できるよう配慮しなければなりません。





#### (4) 持続可能な組織づくり

- 市民の吹田 YEG に対する知名度・認知度の向上を図るための広報活動の強化
- 吹田 YEG に入会しやすい環境づくり

吹田 YEG の会員数は 150 名に迫ろうとしており、全国の単会の中 でも中規模以上の大きさを誇る単会となりましたが、全国的にみて、 市内事業所数に対する YEG 加入率は非常に低く、会員拡大の余地 はまだまだ残されています。しかしながら、単純に会員数の拡大を 求めるだけでは、充実した活動を続けていくことは困難です。

青年部活動のさらなる活性化のために魅力ある例会や事業、委員会 を持続し、意欲ある会員を迎える必要があります。意欲ある会員同 士の活発な交流は、各会員事業所の発展にも大いに貢献していくこ とになります。

#### (5) 発展のための連携・向上のための交流

- 青年部会員の本会活動に対する認識の向上
- 現役会員と卒業生とのさらなる交流・連携
- 新入会員に対するフォローアップ体制の強化

吹田商工会議所のさらなる発展のためには、青年部活動で得た貴重 な経験を本会の事業活動に生かし、吹田商工会議所を内面から支え ていくことが必要です。このことは、会議所自体が地域を支える経 済団体として広く認知されることにも繋がります。

我々吹田YEGとしても、現役と卒業生が交流・連携を図ることによっ て、本会活動の果たすべき役割の一部を積極的に担うことができ、

会議所活動の活性化は本会のみならず吹田 YEG の会員数の増強を 推し進めることに繋がります。

新入会員については、少しでも早く青年部活動を理解し、積極的に 参加できるよう、効率的かつ効果的なフォローアップ体制を強化し

#### (6) 異常気象による今後の運営対策

- 災害対策規定の策定
- 危機管理体制の充実
- 災害時においての復旧支援

近年我が国では甚大なる自然災害が頻発し、かつ被害規模が増大し ております。

例会や事業においても、豪雨や台風により開催中止または内容の変 更をせざるを得ない事態が生じました。加えて会員自身が大阪北部 地震や度重なる台風による被災経験から、防災に対する意識も向上

しました。

災害が発生した際にはメンバーだけでなく、この吹田の街の企業や 市民、ひいては他単会 YEG への支援等を含めた対策を考える必要 があります。

#### メッセージ

#### 編集後記

吹田商工会議所青年部の30周年記念誌、いかがだったでしょうか?

「文字数が多いなぁ」「ページ数が多くない?」という声があちこちから聞こえてきそうです。

でも、記念誌班の私たちとしては、今、「もっと文字数がほしい」「もっとページ数がほしい」という想いでいます。

今回、取材を通して、仲間たちの当時の意気込みを改めて感じ、皆で共有した達成感がまざまざと蘇りました。また、先輩方から 10年前の事業に関する原稿にダメ出しを頂いたとき、平成17年の近畿ブロック大会開催時の挑戦と苦労についてお聴きしたとき、 30年前の設立時のいきさつを昨日のことのように詳細にお話し頂いたとき、先輩方の今でも譲れない熱い想いに驚き、感激しまし た。そして、綿々と受け継がれてきた「吹田YEGスピリット」を感じました。

この「吹田YEGスピリット」を伝えるには、文字数やページ数だけでなく、私たちの取材力も表現力も足りませんでしたが、皆様が 読んでみられて「もっと知りたい」と感じられた部分については、是非、先輩方や仲間たちに直接尋ねてみて下さい。もっと熱い想 いと創意工夫に触れられることでしょう。

そして、それらを糧として、この30年を超える新たな吹田YEGの歴史を築いてください。

「進歩と調和」…そして「その先へ」。

10年後の記念誌を楽しみにしています。

最後になりましたが、取材にご協力頂いた皆様、資料をご提供頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

周年事業委員会記念式典部会 記念誌班 一同

# 謝辞

このたび、吹田商工会議所青年部は創立 30 周年を迎え、記念式典並びに祝賀会 を無事開催することができました。ご臨席を頂いた皆様、遠方よりお越しいただ いた YEG の仲間に、祝福のお言葉を賜り心より感謝を申し上げます。

平成元年 12 月、シニア会員や OB の諸先輩方のご尽力により吹田 YEG は誕生し ました。その後も、先輩方が創立当初からの熱い想いを代々受け継ぎ、今日の吹 田 YEG を築き上げてこられました。この間、社会情勢や環境は大きく変化し、 バブル崩壊、リーマンショック、大地震、大型台風などの厳しい事態に直面する こともありましたが、吹田商工会議所をはじめ、吹田市、各諸団体の皆様の多大 なご協力とご指導により困難を乗り越えてまいりました。さらに、先輩方の積極 的な YEG 活動により、吹田 YEG は平成の時代とともに大きく成長し、創立 30 周 年を迎えることができました。

この 30 周年を一つの節目とし、「中長期ビジョン 30-NEXT 吹田 YEG-」を掲げ、 新たなる吹田 YEG の更なる充実を目指し、商工会議所活動の一翼を担い、地域 の活性化に貢献するため現状に満足することなく「吹田 YEG」らしさを次世代の メンバーに継承していくように努め、また同士の YEG と共に成長をしていく所 存であります。これからも、皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げ、 御礼の挨拶とさせていただきます。



創立 30 周年記念大会会長 奥長 憲孝

### 吹田商工会議所 青年部 創立30周年記念式典・記念誌スタッフ

#### 周年事業委員会

実行委員長 稲葉 英基 記念式典部会長 古川貴晃 副部会長 那須 良太 濱野 良平 副部会長 記念誌担当 上野 穣也 // 杉江友介 高木 真一 谷川安徳 浜田 泰夫 // 丸田 和賀子 式典担当 岡本 康 // 小松 友則 澤田直己

中須 降二 中本 吉彦 長井 晴紀 堀田 誠 森 智也

山根 真由子 製作協力 大久保 和也

# 記念誌カバーデザイン silsil (シルシル)

【カバーデザインコンセプト】 あらゆるものが、のびのびと活き活きと 育つイメージ。

さつき色はひと(市民) くすのき色は自然(風土) 青年部カラーは豊かな水(メンバー) そんな3つが重なり上へと向かいます。



#### 【プロフィール】

大阪府吹田市出身の画家・ライブパフォーマンスアーティスト。現代 女性の心の世界を表現するアーティスト。生きているものが放つ魅力 について描く。主に女性に焦点を当てているが、抽象的な作品やその 他の主題も含み、スパッタリングの技法により、折り重なる不安定な 感情の粒子や、変化し留まることのない生気を連想させる。女性性と 愛に溢れる作風とエモーショナルな LIVEART は描くときのスピード感 と躍動感が特徴。その独自の世界観が日本国内はもちろん、台湾・香港・ NY などでも高い 評価を得ており、2019 年にはヨーロッパツアーを成 功。UAEでの作品出展など、国際アートフェアへの出展や個展を行う。

